

Shinobugaoka

2014

忍ヶ丘

Vol.6

宮崎学園短期大学

Miyazaki Gakuen Junior College

Contents

◆学長所感

忍ヶ丘を彩る黄金の輝き、見事。学長 山下 忍……1

◆社会に対応する現代ビジネス科の新たな取り組み

人間文化学科長(現代ビジネス科長) 久保 良一……2

◆【特集】オープンキャンパス………4

◆保育研修会を開催して

保育研修会担当 中武 亮子……6

◆生涯学習推進委員会

子育て支援セミナー 生涯学習推進委員長 守川 美輪……7

◆保育フェスティバル

保育科 守川 美輪……8

保育フェスティバル委員を経験して
保育科2年 蔵元あすみ……9

◆ニューライフアカデミー

生涯学習推進委員長 守川 美輪……10

◆短大生活 365日

【学友会活動】

上昇を掲げて 学友会会長 櫻川 美波……11

「上昇」 学友会副会長 入佐あゆみ……11

学園で学んだこと 学友会副会長 秋本 史華……11

「青春」 学友会会計 吉岡 奈央……11

一年を振り返って 学友会会計 草野 実結……12

春忍日和 春の忍ヶ丘祭実行委員長 鶴 伸一郎……12

学友会の思い出 春の忍ヶ丘祭副実行委員長 井上 拓哉……12

秋忍祭を通して 秋の忍ヶ丘祭実行委員長 工藤安里奈……12

執行部として 秋の忍ヶ丘祭副実行委員長 小原明日香……12

「笑顔」 春の忍ヶ丘祭副実行委員長 外山 真衣……13

次は私たちが! 春の忍ヶ丘祭副実行委員長 長友さゆり……13

短大での一年間 秋の忍ヶ丘祭副実行委員長 下園 裕己……13

協力の大切さ! 秋の忍ヶ丘祭副実行委員長 井上奈々美……13

【忍ヶ丘寮】 寮長 松本 瞳……14

【保育科】

専攻科福祉専攻進学にあたって 2年A組 衛藤 奈央……15

『置かれた場所で咲きなさい』2年B組 松村久美子……15

2年間を通して 2年C組 入佐あゆみ……16

幼稚園教育実習を終えて 2年D組 大村 夏代……17

最後の実習を終えて 2年E組 土肥奈津希……17

短大生活の中で得たもの 2年F組 森田 夏美……18

【初等教育科】

頑張る初等教育科 1年 久徳 貴史……19

初等教育科に入学して 2年 草野 実結……20

【音楽科】

音楽療法臨床実習を終えて 演奏コース・ピアノ2年 毛利 彩乃……21

定期演奏会に出演して… 演奏コース・ピアノ2年 今井 瑞穂……21

二年間を振り返って ダンス・ミュージカルコース2年 長友 紗耶……22

【人間文化学科】

有意義な学生生活 文化ビジネスコース1年 中石 百香……23

図書館実習で学んだこと 国語国文コース2年 吉田くにこ……23

短大生活での成長 医療事務・医療秘書コース1年 中武 志帆……24

【専攻科】

一年間を振り返って

福祉専攻 萩本 梨加……25

音楽療法専攻での1年間

音楽療法専攻 中武 由夏……25

◆教員免許更新講習について

教務部長 黒木 國泰……26

◆平成25年度 就職状況

就職指導課……27

◆新教職員紹介

人間文化学科 菅 邦男……29

初等教育科 宮崎 弘尚……29

専攻科・福祉専攻 米田 千穂……29

保育科 久松 尚美……30

保育科 工藤 歩……30

◆入試広報部新任紹介

入試広報部次長 末廣 芳文……31

入試広報部書記 林田 高志……31

入試広報部書記 里 美奈子……31

◆サークル活動紹介

「素敵な仲間」 初等教育科2年 河野 仁美……32

「フットサルサークル」 初等教育科1年 谷口 千紘……32

「野球サークル」 部長 新名 和貴……32

「サークル活動」 剣道部部長 山下 汀……32

「卓球同好会について」 顧問 岩切 徹志……33

「皆様に支えられたコンクールの思い出」 音楽科2年 岡崎美智子……33

「皆で掴み取った賞」 保育科2年 米良 寿明……33

「文芸・漫画研究会」 保育科2年 市来明日香……34

「茶道部」 茶道部部長 末永 侑……34

「新たな伝統を」 初等教育科1年 渡邊あかり……34

「Inside Out」 部長 新穂 友章……35

「和装サークル」 保育科1年 森 春佳……35

「Hey! Ryo! Sports!」 部長 牛之濱里奈……35

◆平成26年度オープンキャンパス

7・8・3月の3回開催!………36

◆しのぶ会だより………37

学長所感
忍ヶ丘を彩る
黄金の輝き、見事。
学長 山下 忍

忍ヶ丘を彩る
黄金の輝き、見事。

学長 山下 忍

平成24年度V.O.I.S『忍ヶ丘』の表紙を飾ったのは、黄金の輝きに充ちた銀杏樹の姿でした。

25年度の学長所感は、霜月下句の今ペンを執っていますが、途中玄関前に目を遣ると、私達の大樹銀杏は、今年もまた昨年にも負けない輝きを放とうとしています。ところで私は、つわぶきの花の季節を迎えると、しばしば津和野の地を想い起こします。

文豪森鷗外を生み、画家にして名随筆家の安野光雅を生んだこの土地は、晩秋の時期ともなると、老舗料理店の坪庭にも、路地の左右にも、つわぶきの花満杯です。

かつて訪れた折の、強く胸に刻まれたその思い出をたどりながら、私は自ずと私達のこの忍ヶ丘の地を思います。私達の日々を支えるこの土地も、晩秋霜月の季節は、息軒先生の生家周辺も、私達の明教庵の前庭も、つわぶきの花一杯です。

私は、月のうちの幾度かは、明

教庵の庭に立つて清武の街を俯瞰しますが、そうした折は、よく幾つかのことを思い考えます。思うというより、切望すると表現する方が適切かもしれません。

願うことの第一は、この清武の地を、津和野の街のごとく学生を中心とする若者達が、意気高く、かつ数多く往来する街とすることはできないものか。

今一つは、鷗外の名短編『安井夫人』そのものと、安井夫人即ちお佐代さんの夫息軒先生が世に残した『三計の教え』を、本学に集い学ぶ者をはじめとして、清武の街全体でもっともつと大事にし、宝とすることはできないか。

鷗外の描いたお佐代さんは、今の現在の日本が最も大切にすべき「清純さ」と「清廉さ」を具現している婦人であり、夫安井息軒先生の教えは、一日の在りようにせよ、一年、一生のあるべき姿にせよ、これ以上はないという簡潔さで見事に示していただいている名言です。

思えば、この忍ヶ丘に集う私達は、ただ環境の恵みだけでなく、学問的にも、生き方そのものにおいても、とんでもなく大きな幸せを手にかけているのではないか。

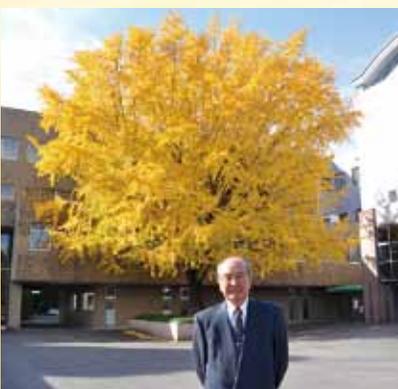
「隣の雑炊は大ごちそうに見える」といった言葉がありますが、私達は必要に応じて彼方にも目を遣りながら、わが足もとを、もつとしっかりと見つめるべきではないのか。

凝視と呼べるほどに見つめ続けると、私達は、意外と夢一杯の宝の山に生きていると、分かってくるのではないか。

この頃は、特にそうした思いに駆られるのです。

私は、ダークダックスの歌う「銀色の道」が大好きなのですが、忍ヶ丘の閑静な道を、胸中に大きな夢を抱きながら、銀色に輝く道を求めて誇り高く闊歩する。

そうした姿を想い描くと、この地に生きることに一層の幸せを覚えます。



社会に対応する現代ビジネス科の新たな取り組み

人間文化学科長 久保 良一
(現代ビジネス科長)

(1) 回想(名称変更の理由)

それまでの国文科及び英語科を統合して、人間文化学科が生まれたのは、平成15年4月でした。文化に学び、生きる力としてビジネス社会で活躍する人材を育てることを目標とする学科です。以来このような使命のもとで教育を行ってきましたが、経済のグローバル化やICT化、サービズ経済化、環境調和型社会の変化及び知識基盤社会への移行や科学技術の進展など、社会の急激な変化を見せています。そこで、社会の急激な変化に対応できる人材の育成という喫緊の課題に対応するために、「現代ビジネス科」と学科名称を変更し、新たな出発をすることになりました。

(2) 現代ビジネス科の特徴

「現代ビジネス科」の「現代」とは、常に激動するグローバルスタンダード社会の中にあることを意味しています。学生たちは、この厳しい現代



のビジネス社会に正面から向き合っていかなければなりません。したがって、現代ビジネス科の使命は、現代のビジネス社会に果敢に挑戦し生き抜く力を持った有能な人材を育てることです。そのために、実学を取り入れたブロック・ユニット型教育課程を編成し、「人間力」「専門力」「教養力」の総合力の育成を目指します。また、情報社会への対応として、学生一人一台、授業や自宅学習に活用するためのタブレット端末を貸与します。学生一人ひとりがバランス感覚を身につけた「即戦力」として活躍できるよう、全力で取り組んでまいります。

本学科には、次のビジネスコースと医療事務・医療秘書コースの2コースを置きます。

① ビジネスコース

このコースでは、ビジネス社会に特化したオールマイティーな人材の育成を目指すことができます。また、ビジネスに役立つ実学教育を行い、社会が必要とする認知度の高い資格・検定や本県で本コースしか取得できない司書資格が取得できるように、「ブロック・ユニット型教育課程」に組み込んでいます。

② 医療事務・医療秘書コース

このコースは、医療知識と事務能力を備え、医師や看護師などの医療専門スタッフが、その機能を十分に発揮できるようにサポートする業務に携わる事のできるコースであります。専門知識はもちろん、患者接遇も重要な能力の一つとして質の高いコミュニケーション能力や医療事務等に必要な能力の育成に力を入れています。

また、九州の短期大学で唯一の日本医師会認定を受けた医療秘書養成学校であり、日本医師会認定の医療秘書の資格も目指しています。



(3) ブロック・ユニット型教育課程とは

この教育課程は、ビジネスの世界で活躍できるオールマイティな人材育成のために、宮学ブランド(基本ユニット)、(形成ユニット)、(オプショナルユニット)を3ユニットに編成をしています。

まず、I. 基本ユニットは、人間力育成のために、「人間の研究 I 礼節・II 勤労」並びに進路決定のための「キャリアガイダンス」を必修に、「簿記」、「情報処理」、「英語」を基本科目とし

ています。Ⅱ.形成ユニットにおいては、ビジネスユニットの中に、経済・金融・経理会計・情報専門の3ユニット。公務員ユニット、図書館司書ユニット、医療事務・医療秘書ユニット、福祉ユニット、国際ユニットの6ブロック並びに7ユニットを配置しています。そして、オブションユニットにおいては、デザイン・ブライダルユニット、大学編入ユニット、アクティブラーニングユニット、実務士ユニットの4ブロック、5ユニットを配置しています。

基本ユニットを全員履修してから、各自の興味・関心や進路に応じた学びの世界が展開されます。資格・検定においても、基本級から高次級まで、自分にあった教育課程となっており、自分らしく将来の道を見つけられる学びがあります。

現在、検定関係では、簿記・ワープロ・秘書実務検定では、毎年100%の合格率であり、日医ITレセ操作実務者、全国医師会医療秘書100%の合格率、医療保険請求事務実技試験においても100%近い

合格率を出しています。



(4)就職への挑戦

多様な人材を確保する中で、企業は有能な人材を確保するために卒業と同時に「キラリと光る学生」を求めています。本学科では、これらに対応するために1年の入学時から二つのことを行っています。

①キャリアアゲイダンス指導：

3、4年前は就職試験を受ける指導をしますと、学生がよく口にしたのは、「試験」があるのですかとこの言葉でした。試験に対して不安感を持っていた現れと思います。そこで、これらを払拭するために学科会で指導の在り方を検討しました。その結果、1年前期に科目「キャリアアゲイダンスⅠ」の中で、

進路学習を行う。学科教員が全員でこの科目を担当しきめ細かな指導を行うというものです。また、後期の科目「キャリアアゲイダンスⅡ」の中でSPI2を学生が自主的に取り組む体制を作り上げました。つまり、学生が学生に指導し、全教員は学生に助言指導にあたるものです。これにより就職試験向けの準備体制ができ、学生が不安感を持たずに受験できるようになりました。また、各教員が学生一人ひとりと、進路に対してキャリア指導を行いました。

その結果、学生は積極的に試験を受けるようになり、内定の二文字を多くの学生がもらっています。試験後、学生がSPI2ができました。解きましたという報告を受けたときに、学生達と一緒に喜びを感じています。

②「心の指導」：ほとんどの

学生が宮崎県各高校から入学してきますので、1年前期に教員全員で「心の指導」を行っています。常に学生と話す、これらの積み重ねによって教員と学生の絆(信頼関係)が深まっています。学科生は、資格・検定や就職試験にして毎日、粘り強く学習する体制を作らなければ、厳しい試験に対応できま

せん。そのために、強い心の育成が必要になるわけです。



(5)最後に

本学科は、学科名も新たに平成26年度から教育課程を充実させ施設・設備などの設置を行いながら、学生の「質の保証」をキーワードに全力投球していかねばなりません。人間力の基礎となる学科生の姿を「笑顔」で「元氣よく」そして「ハキハキと」を motto に日々、本学、家庭、社会の中で育成しています。

ぜひ、本学科の応援団として、今後とも学生達にエールを送っていただきますようお願い致します。

特集

オープンキャンパス

オープンキャンパスは、本学に興味をもっている高校生やその保護者をキャンパスにお招きして本学での学びや学生生活についてお伝えするとともに、在学生や先生方との交流を通して本学をより身近に感じてもらい、安心して入学してもらうために行う本学の年間行事の中でも最も重要なイベントの一つです。

4月に新年度が始まると間もなく、教職員約20名で構成された「オープンキャンパス検討委員会」が開かれます。そして数回に亘って前回の反省や新しい企画など、議論を重ねます。前日の準備には学長先生を筆頭に教職員全員でテント張りやオープニングセレモニー会場の設営、横断幕やのぼり旗の設置を行い、当日も早朝から最後の飾り付けのチェックをして、参加者を出迎えます。

当日の運営で重要な役割を担う係学生は、みな高校生の時にオープンキャンパスに参加した体験者たち。毎回100名程度が参加します。今度は自分が短大生として高校生を迎える立場になって、「私たちが学ぶ短大のいいところをいっぱい知ってもらいたい！」とそれぞれ

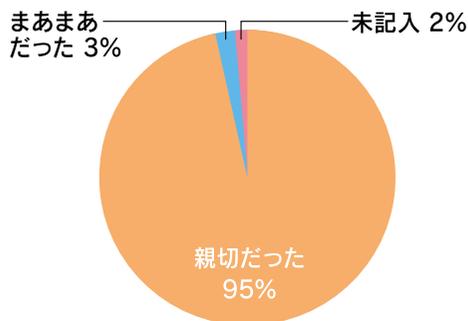
の持ち場で張り切って取り組んでいます。

今年は4学科から2学科となり少し淋しいオープンキャンパスになるかな、と心配しましたが、初等教育科の学生が「春の忍ヶ丘祭」で優勝したダンスを披露してくれるなど昨年にひけをとらない楽しいオープンキャンパスになりました。

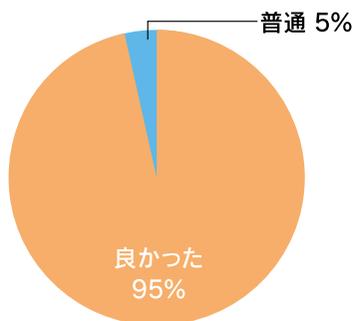
7月7日(日)、8月4日(日)の参加者は次の通りです。

	7月参加者数	8月参加者数	合計参加者数
高校生	231名	206名	437名
保護者	77名	85名	162名
合計	308名	291名	599名

在学生、教職員の対応はどうでしたか？



参加してどうでしたか？



当日のアンケートでは95%が「参加してよかった」、在学生や教職員の対応についても95%が「親切だった」と回答されました。



受付では係学生がお出迎え



吹奏楽部によるウェルカムコンサート



幼稚園教諭になった先輩の体験発表



保育科のピアノと手遊び歌



色々な運動あそびを体験



係学生の誘導でミニ講座へ



子どもの心の不思議を学ぼう



パラシュート製作コーナー



マナーの基本講座でお茶を一服



幼稚園での子どもたちの様子を紹介



進学相談コーナー



初等教育科学生のダンス



お待ちかね学食体験。チョイスは4つ!



明教庵では茶道部がお茶のおもてなし



アンケートに答えてお楽しみ抽選



平成25年度「宮崎学園短期大学保育研修会」を開催いたしました

保育研修会担当 中武 亮子

7月21日(日)「平成25年度宮崎学園短期大学保育研修会」を午前と午後の2講座に分けて行いました。連日の猛暑、また、休日にもかかわらず、多数の保育現場の先生方がご参加くださいました。午前中は本学の佐々木昌代准教授と池田敦子准教授による「音楽と身体遊び」の講座を行いました。

佐々木准教授のすばらしい身体表現と、現場との連携による「保育」に裏打ちされた指導に参加者の皆様も引き込まれ、楽しそうに動かれている姿が見られました。また、池田准教授の奏でる美しいピアノの音は佐々木准教授の動きにぴったりと寄り添い、2人のコンビネーションが醸し出す『動』の世界に参加者全員が酔いしれ、動き、共に楽しんだ2時間でした。

午後は倉永愛子講師による「礼法の基礎と模擬茶会」を行いました。

和服を凛と着こなした講師の姿にまず引き付けられ、立ち居振る舞いに目を奪われ、よく通る声で語られる礼法や茶道のお話に参加者の皆様、本学の担当者とも

に心を奪われました。学内にありながら閑静な佇まいの「明教庵」においていただくお茶は、参加者の皆様にとっても一服の清涼剤となり、日頃の忙しさから少しの間離れてご自分を見つめる『静』の時間を過ごされたようでした。

3名の茶道部の学生も、日ごろの修練を活かし、補佐として大変良い働きをしていました。

今後とも、本学の特色を活かした内容で開催していく予定です。皆様方の研修の場として活用頂けるとうれい存じます。



生涯学習推進委員会



子育て支援セミナー



平成25年度子育て支援セミナーは、宮崎市清武地域子育て支援センターを会場として2日間実施されました。おかげさまで、286名の参加者があり、本学教員の専門を生かした教育力を地域の皆さま方に提供し、喜んで頂くことができました。ありがとうございます。

実施後のアンケートには「ふれあい遊びや音付き絵本の読み聞かせなど内容が充実していて楽しめました。特にリトミックは子どもの反応が良かったです。」「コンサートはとても良かった。感動しました。」「これから、ほめ方しかり方に気をつけようと思った。とても分かりやすかった。」などの感想が寄せられました。

本セミナーへは、0・1歳児とその保護者の参加希望が多く、1歳までの子育て支援の要望があることを感じています。来年度は0・1歳児向けの「親子ふれあい音楽あそび」を2回開催する予定です。

卒業生の参加もあり、嬉しく感じています。保育に関心のある方、0・1歳児の子どもさんのいらっしゃる方、どうぞ来年度のセミナーにご参加ください。お待ちしております。
(生涯学習推進委員長・守川美輪)

実施日	内容	講師
平成25年 7月24日	親子ふれあい音楽あそび	中武亮子准教授
	わくわくコンサート(音楽科1年生による)	末平浩康教授 田中幸子教授 山下恵子教授
	おやつアドバイス	坂元マモル講師
平成25年 7月25日	親子ふれあい音楽あそび	後藤祐子講師
	製作 ふあふあパラシュート ミニ講座 子どもを伸ばすほめ方、しかり方	守川美輪准教授 野崎秀正准教授
平成25年 7月24・25日	子育て・発達相談コーナー	山下恵子教授 久松尚美講師

保育フェスティバル

保育科 守川 美輪

保育フェスティバルは今年で6年目の開催となり、地域に開かれたイベントとして少しずつ定着して来ています。「昨年度楽しかったので、今年度も来しました。」という親子が何組もあり、参加を楽しみにし、期待してもらええるイベントに育って来ていることが感じられます。

本学交流センターで行った保育フェスティバルには、過去最高の来場者(大人97名子ども93名計190名)があり、活気あふれるイベントとなりました。イオンモール宮崎イオンホール会場で



は大人188名、子ども149名計337名の来場者があり、こちらも盛会でした。

今年度は「ボランテニア実習Ⅰ」を履修している初等教育科と音楽科1年生も運営に加わり、内容も一層充実したものとなりました。新たに加わった「ミニコンサート」では、普段触れることのない三味線やクラリネットの演奏に、聞き入る子どもたちの姿がありました。

保育科は各学年6クラスありますが、それぞれのクラスが1・2年合同でイベントを運営しています。1年生は2年生の姿から学び、次年度に引き継ぐことができています。

開催にあたって、各クラス4・5名の保育フェスティバル委員が、内容を考え、遊具の製作や、おみやげの製作をしました。また、放課後等に3回のリハーサルを経験する中で、遊具を改良し、演出の改善をして来しました。

来場者の感想に「クオリティの高さにびっくりしました。子どもがとても喜んでいました。」というものがありませんでした。意欲を持ってイベント成功に向けて努力し

た学生の成果だと思えます。今後とも学生たちの頑張りを期待し、支援していきたいと思っています。

保育フェスティバルは来年度も継続して実施する予定です。本学ホームページでご案内するほか、宮崎市内の子育て支援センターや附属幼稚園にチラシを配布してお知らせします。お知り合いをお誘い下さり、おいでくださいれば幸いです。



- 10月26日(土) 本学交流センター
- 11月30日(土) イオンモール宮崎イオンホール

0・1歳児	ボランティア実習I 初等教育科1年	10:00～11:30	一緒にあそぼう
	専攻科福祉専攻	11:30～12:30	動物コロコロ
	保育科B組	12:30～13:30	親子ふれあいあそび
	保育科D組	13:30～14:30	手づくりおもちゃで一緒にあそぼう
	ボランティア実習I 保育科1年	14:30～15:30	一緒にあそぼう
2歳以上児	保育科E組	10:00～11:40	アニマルランド
	音楽科	11:40～12:00	ミニコンサート
	保育科C組	12:00～13:00	汽車でGo♪
	保育科F組	13:00～14:10	迷路でだれに会えるかな?
	音楽科	14:10～14:30	ミニコンサート
	保育科A組	14:30～15:30	キッズアドベンチャー
製作コーナー		10:30～15:00	クリスマス飾り さかなつり

保育フェスティバル 委員を経験して

保育科 二年D級

蔵元 あすみ

私は二年間、保育フェスティバル委員を務めさせて頂きました。保育フェスティバルとは、私たち学生が中心となり、授業などで学んでいることを紹介したり、様々な遊びを通して子育て支援をしたりするイベントです。私は委員会を通してたくさんのお話を学び、経験することができました。自分たちで、保育を計画し、準備し、そして実行するということは、簡単ではないということを実感しました。

特に今年は、私たち二年生がリーダーとなって何をするのか案を出し合ったり、出し物の準備をしたり、限られた時間の中で、どうすれば子どもたちにとって楽しいイベントになるのかを考えてきました。このことは、これから働いていく上でも、とても役に立つ貴重な経験だったと思います。

私は、前日までの準備がどんなに大変でも、当日訪れてくれた子どもたちや保護者の方々の楽しんでいる様子を見ると、保育フェスティバル委員をしていて良かったなあ、と思います。

今年も秋の忍ヶ丘祭での保育フェスティバルを終えて、たくさん反省点がありました。イオンで行われる保育フェスティバルまで約1ヵ月。その反省点をどうやって改善していこうか、という事を考えることが楽しみでもありました。授業や実習と同じくらい、私にとって保育フェスティバルというイベントは大切なものであると感じています。

保育フェスティバル委員は他の委員と比べて、仕事も多く大変そうだな...と思っている人もいるかもしれませんが、しかし、その分やりがいがあり、得られるものはとても貴重で大きなものです。保育フェスティバルを通して、私は成長することができたと思っております。

ニューライフ・アカデミー

生涯学習推進委員長 守川美輪

本学では、教員の専門を生かした二般向けの講座を開いています。この講座は継続的に実施しており、広く県民に開かれた生涯学習講座となっています。

今年度は二月六日(木)から、毎週木曜日に四回行われました。一七名の参加者は毎回熱心に講義や実技に取り組みました。

第一回は開講式の後、例年通り「早春賦」を歌うことから始まりました。開講挨拶に続いての講話「鷗外著『安井夫人』に親しむ」の担当は山下忍学長。ご自身の読書や書物、特に漱石・鷗外への熱い思いを語り、解説を交えながら『安井夫人』を朗読されました。佐代夫人と息軒先生、そして鷗外の存在がありありと追ってくるようでした。

第二回は後藤多津子教授の「小倉百人一首とかるた」。小倉百人一首の成立と歌かるたについての説明の後、文屋朝康の歌「白露に風の吹きさしく秋の野はつらぬきとめぬ玉ぞ散りける」の独自性について講話がなされました。実技では競技かるたのルールを学び、後藤教授の読みのもと実際に体験しました。

第三回は守川美輪准教授の「初心者歓迎 スクラップブックング」。参加者が持つて来られた数枚の写真を、台紙に美しく飾りました。配置や配色を試しながら、思いや感覚を生かし、「家族」や「登山」、「ガーデンニング」などのテーマで、素晴らしい作品が出来上がりました。

第四回は山下恵子教授の「音楽は人と人とを繋ぐ架け橋」。打楽器を使った音のリレーをしたり、リズムに合わせてハイタッチをしたりしながら、音楽があるこ

とで、体や心が動き、人と繋がる感覚をつかみました。

また、音楽療法の臨床実践において、デイケアの患者さんが創られた歌詞に曲をつけそれが十年を経て歌い継がれていることや、高齢者グループで「里の秋」の歌詞の四番をつくられ、父が戦地から帰って来てほしいという気持ちを伝え合うことができたことについて話されました。

最後に閉講式を行い、修了証、参加証をお渡ししました。今年度も充実した講座となりました。ありがとうございました。受講された方の感想を紹介いたします。「この二月の四回の講座ありがとうございました。この部屋の良さ、山の上にある建物の環境もとてもよいところだと思っています。」

「スタッフの先生、ご講義頂きました先生方の好意に深く感謝申し上げます。机上の折々の花に心癒され、講義で心豊かに先生方のお心使いに笑顔を取り、至福の時間となりました。生涯通し学ぶ気持ちに私をかりたてて頂いているニューライフアカデミーの開講、誠にありがとうございました。」

	平成25年度講座内容	講師
平成26年 2月6日(木)	開講式・鷗外著『安井夫人』に親しむ	山下 忍 学長
平成26年 2月13日(木)	小倉百人一首とかるた	後藤 多津子 教授
平成26年 2月20日(木)	初心者歓迎 スクラップブックング 写真を色画用紙で飾ります	守川 美輪 准教授
平成26年 2月27日(木)	音楽は人と人とを繋ぐ架け橋・閉講式	山下 恵子 教授



ニューライフ・アカデミー会場 明教庵



歌「早春賦」「たぎ火」など



第1回 鷗外著『安井夫人』に親しむ 山下 忍学長



第2回 小倉百人一首とかるた 後藤多津子



第3回 初心者歓迎 スクラップブックング 守川美輪



第4回 音楽は人と人とを繋ぐ架け橋 山下恵子



Junior College Life 365 Days

短大生活 365日



学友会活動

上昇を掲げて

学友会会長

人間文化学科

文化ビジネスコース 2年

櫻川 美波

この一年「上昇」というテーマに向かって学友会一同歩んできました。朝早く夜は遅くまで準備した忍ヶ丘祭は春・秋とも大成功だったと思います。多くの学友が片付けを手伝ってくれた姿を見て人の温かさを実感すると共にこれが本当の上昇だと学びました。私達の力だけではなく、先生方のご協力や多くの資料を残して下さった先輩方あつてのことだと思えます。皆様の支えがあつて乗り越えられました。本当にありがとうございます！

「上昇」

学友会副会長

保育科 2年C組

入佐 あゆみ

今年度は、「上昇」というテーマを掲げて活動してきました。特に春・秋の忍ヶ丘祭では、先生方をはじめたくさんの方々にご協力していただき、楽しい忍ヶ丘祭になったのではないかと思っています。準備・運営等慣れない仕事でたくさんの方にご迷惑をおかけしたと思いますが、協力して下さつてありがとうございます。これからも、よりよい学校を目指して、新たな伝統を築き上げていってほしいと思います。

学園で学んだこと

学友会副会長

人間文化学科

文化ビジネスコース 2年

秋本 史華

一年の後期から執行部に入り約一年半という短期の中でたくさん思い出がありました。副会長として会長のサポートやガイダンスの資料作成、そして忍ヶ丘祭のポスターやパンフレット作成を担当させていただきました。不安や苦労・悩みもありましたが、それ以上に達成・喜び・笑顔がありました。自己成長だけでなく、学校全体として成長し、「上昇」していったのではないかと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

「青春」

学友会会計

保育科 2年D組

吉岡 奈央

私は、一年間学友会執行部の会計をさせて頂きました。初めは、会計は絶対大変だろうなと責任をすごく感じていましたが、今では責任も感じつつ、とても楽しく仕事が出来たのではないかと思います。この一年間で様々な行事があり、大変な時も

ありましたが、同時に達成感や充実感も生まれ、すごくやりがいのある仕事でした。これも、先生方や学友会の仲間達が支えてくれたお陰だと思っています。改めて学友会執行部に入れて良かったです。

一年を振り返って

学友会会計

初等教育科 2年

草野 実結

私は一年間、会計という役職で出金の手続きをしたり、お金の管理をしたりしてきました。しかし実際は私一人では何もできなくて、執行部のみんなに助けってもらいました。行事の前は特に忙しく、納得のいくまで話し合いをし、春忍秋忍の前日は外が暗くなるまで準備をしました。そのようなことを通して執行部の絆を深めることができたと思います。クラスメイトや先生方、支えてくれたすべての人たちに感謝の気持ちを伝えたいです。

春忍日和

春の忍ヶ丘祭実行委員長

初等教育科 2年

鶴 伸一郎

私は、執行部として春の忍ヶ丘祭実行委員長の役目を全うしました。新執行部の最初の仕事であり、皆が「これでいいのかわか？」と何度も考え、話し合いを重ねることで「これでいい！」という熱い思いに変わっていき、実行に移すことで、最高の春の忍ヶ丘祭を迎えることができました。一番の思い出は何かと問われたら、春忍日和に最高の春忍を実行できたことです。この経験を活かして、今後の社会人生活に繋げていきたいと思っています。

学友会の思い出

春の忍ヶ丘祭副実行委員長

保育科 2年C組

井上 拓哉

私は学友会に入って思い出をたくさんつくることができました。まず一つ目は、執行部に入れたことです。この執行部に入ってから学校の行事に積極的に携わることができ、とても充実することができました。特に春忍では、副実行委員長をさせていただくことで、いろいろな経験を積むことができました。二つ目は、この執行部のメンバーと出会えたことです。このメンバーのお陰で、いろいろな行事を楽しむことができたのだと思います。

秋忍祭を通して

秋の忍ヶ丘祭実行委員長

保育科 2年C組

工藤 安里奈

私は、秋の忍ヶ丘祭実行委員長を務めさせていただき、全体をまとめる大変さ、協力してくださったたくさんの方の温かさを実感することができました。そして、笑顔が溢れる秋の忍ヶ丘祭を開催することができ、最高の思い出になりました。

先生方や友達、そして執行部にはとても支えられました。最高な人達に出逢えたことに感謝いっぱいです。ありがとうございます!!

執行部として

秋の忍ヶ丘祭副実行委員長

保育科 2年D組

小原 明日香

私は約一年間、学友会執行部として活動させて頂きました。振り返ってみるとその活動の一つひとつが忘れ難い思い出となっており、中でも一番印象的だった思い出は、秋の忍ヶ丘祭です。学友会執行部だけでなく、宮崎学園短期大学の全学生、また教職員の皆様方の多大なるご協力のもと素晴らしい忍ヶ丘祭となることができました。学友会執行部としてこのような素晴らしい行事に関わることができて、本当に幸せでした。

「笑顔」

春の忍ヶ丘祭副実行委員長

保育科 1年E組

外山 真衣

宮崎学園短期大学に入学し、約半年が経ちました。学友会の一員として、さまざまな行事に携わり、貴重な経験をさせていただきました。私が一番心に残っている行事は春の忍ヶ丘祭です。入学して、一番初めの行事であり、春の忍ヶ丘祭により、クラスの仲間の心が一つになれたと同時に、宮崎学園短期大学の学生みんなの笑顔を見ることができました。来年は、今年以上の春の忍ヶ丘祭を開催できるように、努力していきます。

次は私たちが！

春の忍ヶ丘祭副実行委員長

初等教育科 1年

長友 さゆり

私は春の忍ヶ丘祭の実行委員でした。何もかも初めてのこと

で、ただ先輩方についていくだけでしたが、学校全体で協力していく姿を見ると、みなさんの助けがあったからこそできることなのだと思えることができました。これからは私たちが学校を引っ張っていかなくてはなりません。先輩方が守ってきた伝統を受け継ぎながら私たちもそれを上回れるように努力しようと思います。

短大での二年間

秋の忍ヶ丘祭副実行委員長

保育科 1年F組

下園 裕己

一年間を通して、春は春忍、秋は秋忍がありました。特に秋忍では、実行委員で、執行部がいかに大事な役目にいるのか、そして先輩方の頑張り苦勞を見てきました。自分たちだけの力で、成功させたわけではありません。先生方、特に佐藤先生にはお世話になりました。ありがとうございます。これからは、自分たちがこの学校を引っ張っていく番です。先輩方から学んだことを引

き継いでいき、自分たちで新しいことなどに挑戦していきます。

協力の大切さ！

秋の忍ヶ丘祭副実行委員長

保育科 1年A組

井上 奈々美

私は執行部に入り約一年が経ちました。様々な行事の中で、一

年生で行った春の一斉清掃では自分たちでやり遂げるこの大変さを実感しました。二年生がいない中で準備をし、スムーズに行えるかという不安もありましたが、学友、先生方と協力できたので良かったと思います。春・秋の忍ヶ丘祭を大成功させた二年生のように、素晴らしい学友会になるように今後も頑張っていきたいです。



学友会執行部



忍ヶ丘寮

寮長

音楽科 2年

松本 瞳

忍ヶ丘寮での生活は、毎日「心強い」という大きな安心があります。県外などの遠方から親元を離れて生活を送るにあたって、寮生は「家族」という存在であり、毎日の生活にとっても大きく関与しています。

寮での生活は、寮でなければ得ることができないことがたくさんあります。私は県外から来ており、宮崎には初めて来ました。友人などもおらず、音楽科も人数が少なく、とても不安でいっぱいでした。しかし入学と同時に入寮し、科を越えた学友がたくさんできました。さらに寮のイベントなどでは学年を越えた交流もあり、さまざまな情報を共有できる場にもなりました。もし私が寮に入っていな

かったら、科や学年を越えた交流をここまで図ることができなかったと思います。また、集団生活の勉強の場にもなりました。保育士や教師を目指す学生が集まっている寮なので、自覚を持つためにも自身の生活を見直す機会になりました。

寮のイベントは月に1回、スポーツ大会や季節のイベント（夏祭り・ハロウィン・クリスマスなど）を設け、共に生活をしている「家族」とのコミュニケーションを深めました。また、10月の秋の忍ヶ丘祭では、忍ヶ丘寮として模擬店を出店しました。このような活動でより一層「家族」の絆を深められたと感じています。



ハロウィンパーティー

専攻科福祉専攻

進学にあたって

2年A組

衛藤 奈央



「施設実習を終えて、考え方が180度変わりました。」

実習前指導での先輩のその一言が私にはどうしても理解ができなかった。障がいをもっていて可哀相なことには変わりないのではないか。実習に行くだけで価値観が変わるものなのだろうか。モヤモヤとした不信感を抱えながら10日間の施設実習がスタートした。利用者の方々を

偏見な目で見てしまっていたためになかなか話しかけることができず、接することに恐怖心を抱いていた。そんな私に「仲良くしてくれませんか？」と一言。「今日の余暇活動はダンスですよ。」とまた一言。たくさんの利用者に囲まれとても温かな気持ちになり、いつのまにか恐怖心もなくなっていた。うまく言葉を発することができなかつたり、思うように身体を動かせなかつたりと人によってそれぞれだったが、生き生きとしている利用者の姿に圧倒されたのを今でも覚えている。実習日数を重ねていくごとに、先輩の言葉が身にしみて感じるようになった。感情のコントロールが苦手、自分で身体を動かして生活することが苦手、言葉を発することが苦手。私達にも苦手なことがあるのと同様ではないだろうか。私自身の価値観も大きく変化している。と気付くのに時間もかからなかった。そして同時に、福祉や介護の仕事に大きく興味をもつようになつた。施設実習こそが専攻科への入学を決意したきっかけである。

福祉専攻科への入学を目の前にして、不安や期待が葛藤する日々。保育科での実習とは大きく異なる部分もでてくるために、「戸惑い悩むことも多くなるだろう。しかし、悩んだ分だけ学ぶことができ、知識や技術を吸収する機会が増えると思う」と不安な気持ちよりも期待が膨らむのだ。1年間の間に行なわれる実習を通してひとつでも多くのことを経験し、自分の力として身に付けることが目標である。そして、日々の講義や演習等にも真剣に取り組む、学友と共に充実した最後の学生生活を送っていきたい。



一念発起で受験を決意したあの日から二年が過ぎました。おこがましくも短大生として過ごしています。起稿にあたりこれまでの生活を振り返ってみると、月並みながら「感謝」のひと言しか浮かんできません。
協力してくれた家族はもちろん、学ぶ機会を与えて下さった短大、実習を受け入れて下さった保育園・幼稚園福祉施設の諸先生方、そして母親と年齢の変わらない私を、友人として接してくれた同級生達。すべての方々のお陰で私の生活は大変充

『置かれた場所で

咲きなさい』

2年B組

松村 久美子



実しています。

専門知識の宝庫のような研究職の先生や、教育・保育現場における実践経験豊富な先生方の講義や演習は、子育てのベテランであったはずの私の目から鱗が落ちるような新鮮な発見ばかりでした。心理学や教育、保育専門分野の講義では、自身の子育てを反省したり当時の我が子の心境がやっとなり理解出来たこともありました。

友人に囲まれ、楽しくも真剣に学ぶ学生の姿は午後5時まで。帰宅後私は開業医の夫の妻、3人の息子の母、老親達の嫁として娘として家事・雑事に奮闘します。そんな私のバイブルは、短大に入学して間もなく出会った渡辺和子著「置かれた場所で咲きなさい」です。日によって時間によって八面六臂の活躍が期待される立場ですが、その時々を精一杯過ごそうとの気概が私自身を励まし、毎日の元気の源になっていきます。

入学前は不安もあり、二年はとてつもなく長く思えました。しかし残り時間はあとわずかです。この短大での学びを体現で

きる保育者となり、ひとと社会への貢献を目指します。そしてそれによって、これからの自分の人生をも豊かにしていけると確信しています。ありがとうございました。



2年間を通して

2年C組

入佐 あゆみ



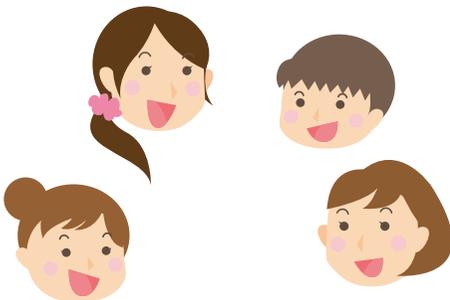
この学校に入学して、あっという間に二年が経とうとしています。毎日の授業や実習などで専門的な知識を学んだり、学生会執行部の活動に取り組んだり、とても充実した日々を送ることができています。

宮崎学園短期大学では、クラスが分かれており、授業や様々な行事は基本的にクラスで行ないます。その為、クラスの団結力は高く、困った時や苦しい時は助け合い、喜びは分かち合えます。特に、仲の良い友人にはたくさん助けられました。実習や試験勉強、就職活動と忙しい時でも、友人の言葉や励ましのおかげで乗り越えることができました。と思います。そのような学友を持つことはとても大事だと改めて感じました。

また、私は二年間学友会執行部を務めました。人前に立つことがあまり得意ではなかった私ですが、行事の準備・運営などをする中で、頑張った分だけ人に喜んでもらえるという結果が出るのが嬉しかったです。学友会執行部は、学校の建学の精神である勤労の大切さを感じさせ

てくれる良い経験となりました。もちろん勉学との両立や責任の重さなど苦しいこともありましたが、これから社会に出る者として、きつと役に立つことと思います。

二年間、私がこうやって短大生活を送れたのも両親や先生方をはじめとするたくさんの方々のおかげです。自分を支えてくれた人々への感謝の気持ちを忘れずにこれからの日々を過ごしていきたいと思います。本当にありがとうございました。



幼稚園教育実習を

終えて

2年D組

大村 夏代



五月二十七日から三週間、幼稚園教育実習を行いました。この実習では、授業で学んだことを実践し、技術として身に付けるといふねらいをもって臨みました。実習中は、ピアノや絵本の読み聞かせ、手遊びなどを実践する機会を多く頂きました。子どもの前での実践を積み重ねることで、自信をつけることができました。特にピアノは苦手意識があり、初めは緊張でうまく弾けませんでしたが、回を重ねるごとに歌詞を先読みしたり、子どもの方に目を向けたりしな

がら、楽しんで弾くことができようになるようになりました。絵本や手遊びも、必ず事前に練習をし、子ども達がより楽しめるように工夫することができました。

実習の終わりには、一日の保育を全て担当する、全日保育も経験させて頂きました。子どもへの動きを予測し、援助を考えて指導案を立て、保育者として援助の留意点を全て頭に入れて保育をするということは初めての経験で、不安もあり、難しさも感じました。全日保育当日、時間を気にし、焦りそうになるときも、笑顔だけは忘れないよう意識しました。子ども達と帰りの挨拶を交わしたときは、忘れられないくらい達の達成感がありました。反省点も多く、自分の未熟さを改めて痛感しましたが、自信にも繋がりました。これからの課題や自分に足りないものも知ることができ、もつともつと学びを深め、成長していきたいと思えました。

実習中は、多くの貴重な経験をさせて頂き、一日一日新たな学びがありました。そして何よりも、子ども達のキラキラした

笑顔からたくさん力をもらいました。子どもと過ごす中で、共に成長することができ、幼稚園教諭の仕事に改めて魅力を感じました。この実習での経験や学んだことを、これからの学園生活や自分の保育に活かしていきたいと思えます。



最後の実習を終えて

2年E組

土肥 奈津希



11月5日～18日まで12日間の保育実習がありました。12日間の間、0～5歳児のそれぞれのクラスで実習をし、沢山の子ども達と出会い、担任の先生方の子どもとのかかわり方を見せていただきました。

未満児のクラスでは、オムツ交換をしたり、ミルクを飲ませたり、座学では学べない実践的な部分や、感じる事ができないものを多く学び、実感することができました。また、言葉でうまくコミュニケーションが取れない未満児にとつて、スキンシップがいかに大切かも感じる事ができました。

今回は、研究保育をさせて頂き、製作活動をしました。実習園では、縦割り保育だったので、発達階級の異なる3・4・5歳児の製作活動は、時間通りに進められるか、子ども1人1人の様子の把握ができるか不安な気持ちでいっぱいでした。当日、しっかりと私の話を聞いてくれている子ども達、何色にしようか真剣に悩む子、夢中になって作っている子、完成した作品を無邪気な笑顔で見せてくれる子。こんな

子ども達の姿を見て、私が準備した活動を1人1人が楽しんで味わってくれていることを大変嬉しく感じ、何より私も楽しんで研究保育をすることができました。もちろん、反省点も沢山みつかり、実際に保育者の立場を経験させて頂いたからこそ感じたこと、見えてきた課題もあり、貴重な体験となりました。

今回の最後の実習を終えて、少しの自信がつくと共に、子ども達の成長と一緒に喜び、感じる事ができる保育士の魅力を感じて感じました。4月からは、保育士となります。実習で経験し学んだことを忘れず、保育者として実践の場で生かせるよう頑張りたいと思います。貴重な経験をさせて頂き、短大の先生方、保育園の先生方、子ども達に感謝したいと思います。



短大生活の中で

得たもの

2年F組

森田 夏美



幼稚園の先生になりたい。幼い頃に抱いた夢は、短大に入学して二年目の夏に叶いました。現在は四月から幼稚園教諭として働くために必要な知識、経験をj得るため日々学習に励んでいます。

そんな私には、この短大生活で得た大事なものがああります。それは辛いこと、苦しいことを共に乗り越えてきた仲間の存在です。

短大では二年生の六月に三週間幼稚園の教育実習が行われま

す。学生が初めて現場で「先生」として研究保育を行います。

初めて先生として子どもたちの前に立ち、たった一人で行わなければなりません。研究保育の目が近づくとつれ、その不安は大きくなつていきました。ずっと夢だった幼稚園教諭という仕事。初めて先生として子どもたちを前にして立つというのは、夢に近づいた証であると同時に、私にできるのだろうかという不安がありました。

しかし、そんな不安を打ち消してくれたのが共に苦勞を乗り越えてきた友人たちの「一緒に頑張ろう。みんなで乗り切ろう」という応援の言葉でした。今まで学校行事や実習を共にしてきたクラスメイトは、楽しい時も苦しい時もみんな力を合わせて乗り越えてきました。そんな仲間たちからの声援はとても励みになりました。

子どもが好きで、幼稚園教諭や保育士、施設職員など似た夢を追っている。だからこそ、同じ気持ちで不安や悩みを受け止めてくれる。そんな大切な仲間たちとこの短大で出会えたことを

心から嬉しく思っています。

これから私たちは現場に出て、先生として働いていくことになりました。一人では不安で何もできないかもしれせん。しかし、今は信頼できる未来の保育者仲間が私の周りにはたくさんいます。どんな時でも大丈夫、私達もついているから。そういつてくれる仲間をこれから一生の宝とし、頑張つていこうと思います。そして、私がこれから受けもつ子どもたちへ夢を追う大切さ、またそれを支えてくれる仲間の大切さを伝えていきたいと思つています。





初等教育科

頑張る初等教育科

1年

久徳 貴史



私は、小学校の教諭になりた
 と思います、初等教育科に入學し
 ました。残念なことに宮崎学園
 短期大学としての初等教育科
 は、私たちの学年で最後になっ
 てしまいます。最後の初等教育
 科の学生として良い締めくくり
 をしたいと日々考えながら学生
 生活を送っています。現在、初等
 教育科一年に、二十四名在籍し
 ています。未来への夢の実現
 に向かって励まし合いながら全

員で頑張っています。入学当初
 経験した春の忍ヶ丘祭は、初等
 教育科二年生との交流も兼ねた
 行事でした。昼休みや放課後な
 ど先輩から熱心にダンスの指導
 をしていただきました。初めは、
 先輩と十分に話すこともできま
 せんでしたが、先輩の方から話
 しかけていただいたので、すぐ
 にうちとけることができました。
 本番では、ダンスの途中でハ
 プニングもありましたが、その
 出来事も初等教育科の団結力で
 感動へと変え、観衆から温かい
 声援もいただき私自身大変感動
 しました。後期に入り、秋の忍ヶ
 丘祭を迎えました。秋忍委員会
 を中心に全学一丸となつて祭を
 盛り上げようとする姿から、宮
 崎学園短期大学のよさを十分に
 感じることができました。楽
 しく充実した思い出になりました。
 秋の忍ヶ丘祭が終わると教
 職に向けての第一歩ともいえる
 スクールトライアル、介護等体
 験実習です。実際に学校に赴き、
 子どもに接し、見学や活動等
 とおして様々な体験ができた
 と思います。このことにより、改めて自
 分の将来のことを深く考え、自分



に何が足りないのか、どうい
 う思いを持って日々過ごせばよ
 いかということも問いかける機
 会となり、大変充実した数日間
 でした。一学年も残り少なくな
 りましたが、次年度に向かい
 いっそう勉学に励みたいと思
 います。

初等教育科に入学して

2年

草野 実結



私は二年前、初めて宮崎学園

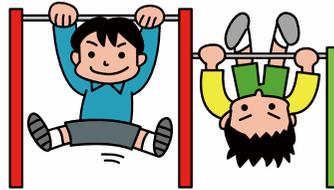
短期大学のオープンキャンパスに訪れ入学を決めました。私の地元は熊本だったため、初めは知らない土地で一人で生活し勉強に励むことができるのか、不安でいっぱいだったのを覚えています。しかし、少しずつ友人も増え、学校の雰囲気にも慣れていき、今では楽しく充実した毎日を送ることができています。

その中でも一番印象に強く残っているのは、教育実習です。初等教育科では幼稚園と小学校の教諭免許を取得するため実習を行います。実際に現場

で様々な体験をさせていただくことを通して、教師という職業の大変さとやりがいと同時に感じることもできました。教師は教育分野だけでなく、幅広い知識・教養を身につける必要があります。さらに児童との関わりや保護者との関わり、教師間の関わりなど、多くの人と良い人間関係を築かなければなりません。そのためにはまず、学校でしっかりと勉学に励み、たくさんの人と関わりコミュニケーション能力を養っていくことが大切だと学びました。

また、学友会執行部に入って活動したことも心に残っています。最初は、「誰かがやればいい」「私はそういうのに向いていない」と自分で決めつけて、執行部に入ることは全く考えていませんでした。しかしある先生に、「お前にやってみてほしい」と言われた時、自分を変えるチャンスなのではないかと思えました。そして執行部に入ってから、春の忍ヶ丘祭や秋の忍ヶ丘祭の準備などとても忙しい毎日でした。それでも、執行部のみんなや友人、先生方に支えられ、と

ても楽しい時間を過ごすことができました。もしあの時に執行部に入っていなかったら、私はこの貴重な短大生活をここまで有意義に過ごすことはできていなかったと思います。私はこの大学で二年間過ごせたことを誇りに思います。





音楽科

音楽療法臨床実習

を終えて

演奏コース・ピアノ 2年

毛利 彩乃



まず音楽療法とは「音楽の持つ生理的・心理的・社会的働きを、心身の障害の回復、機能の維持改善、生活の向上に向けて、意図的、計画的に活用して行われる治療的・教育的技法である」と定義されているものです。

対象は大きく分けて児童・成人・高齢者と分けられますが、今回私は成人の障害者支援施設にて実習させていただきました。

実習は二週間あり、施設は日向市にあるので寮に宿泊しながらの実習でした。

実習内容は音楽療法だけでなく、利用者の方のお風呂や歯磨きの介助や利用者の方と一緒に縫い物や畑の整備などの活動を行うものでした。音楽活動が少なかったため、はじめ、私は音楽療法を学びに来たのではないのかと疑問をもったりもしました。しかし音楽をしている以外の利用者の方の様子を知ることが、音楽療法の実践計画を組み立てる上で、対象になる方にあつたより深いプログラムが組み立てられるのではないかと思っていました。

実習八日目に自分が組み立てたプログラムで六十分の実践をさせていただきました。音や音楽の使い方や音の出し方、活動を進めるなかでの配慮などたくさんの方の改善点がありました。それよりも実際の利用者の方と相手に活動を行うのは計画通りにはいかないということを実感しました。計画的に進めることが出来ない時にいかに臨機応変に対応していくことが出来るか

が大切だと学びました。実践では利用者の方は音楽が好きなのでとても楽しんでいただけました。やはりそれはこれから音楽療法を学んでいくうえで一番の励みになるので、この経験からもっと質の良い音楽療法が出来るように取り組みたいと思います。

最後に今回の実習から親のありがたみを知りました。自分がどれだけ両親に甘えているのかを宿泊を通して実感させられました。私は卒業後専攻科に進学するので、学費を払ってくれ、学校生活を支えてくれていた両親に感謝しながら、音楽療法士になるために努力をしていきたいと思えます。



定期演奏会に

出演して…

演奏コース・ピアノ 2年

今井 瑞穂



十一月九日、私は宮崎学園高等学校・短期大学合同定期演奏会にピアノソロで出演させて頂きました。出演が決まった時は、不安な気持ちでいっぱい、マインナスなことばかり考えていました。演奏に向けての練習も上手くは行っていませんでした。そして不安が高まるばかりでした。この時に、私の友達が、「みずほのピアノ大好きだよ。観に行きたい楽しみにしてるね!」と言ってくれました。その言葉で私はとても自信が付き、楽しみにしてくれている人がいるか

ら、頑張ろうと思うようになりました。それまでは、失敗をしないように、上手に演奏できるようにと思い練習していました。自分の演奏を聴いてくれる人のことを考えて練習するようになりまし。どのよう弾けば、聴いてくれる人を感動させることができるかなど工夫することにしました。すると、あんなに緊張していた本番が楽しみになり、本番が待ち遠しくもなりました。本番ではたくさんの方が聴きにきてくださり、とても緊張しましたが、自分の演奏を聴いてくれることがとても嬉しくて、楽しむことができました。こう思えたことは自分にとっては大きな成長だったと感じています。そして日頃は見落としてしまっていた感謝の気持ちもより込みあげてきました。

この演奏会に出演させて頂いて心から感謝しています。



二年間を振り返って

ダンス・ミュージカルコース 2年

長友 紗耶

私はミュージカルが好きで、中学二年の頃からはジャズダンスを習い始めました。高校は本学の姉妹校である宮崎学園高等学校の音楽科に入学し、音楽やピアノのレッスンを受け、充実した学校生活を送りました。

そして、本学の音楽科にダンス・ミュージカルコースがあると聞き、本学に入学することを決めました。一年次には先生と一対一でダンスや朗読などを学び、分かりやすく指導して頂き、毎回楽しくレッスンをすることができました。二年次になると新しく一年生が入学し、一緒にレッスンを受け、ダンスを踊ったり、台詞を読んだりして毎回とても充実した楽しいレッスンでした。他にも声楽やピアノ・音楽の歴史などたくさん学ぶことができました。年に二回ある実技試験では広いホールで演奏をすることができ、緊張もありま

すが、とても良い経験をさせていただけました。そして、友達の演奏を聴いて気づくことがあったり、刺激を受けたりして自分も成長することが出来たと思います。

二年次には定期演奏会で宮崎学園の高校生と合唱をさせていただき、大変貴重な経験をさせていただきました。

二年間はあっという間でしたが、毎日楽しくとても充実した毎日を過ごすことができました。これからも一日一日を大切に過ごし、少しでも成長していきたいと思っています。

最後に、音楽科は伝統の幕を引きますが、かけがえのない友人たちに出会えたこの学校に感謝しています。





人間文化学科

有意義な学生生活

文化ビジネスコース 1年

中石 百香



わたしたち、文化ビジネスコースの学生は、日々ビジネスに関する知識や技術を学ぶため、学習に励んでいます。「情報処理」や「Web演習」の授業では、コンピュータを使って様々な技術を身につけています。その技術を生かして課題をこなしたり、自分ならではの作品を制作したりすることで、充実感達成を得ることができます。また、ビジネス実務関係科目や「販

売学総論」では、就職に向けて社会のビジネスの現状や、販売士としてのあり方を学ぶことができます。自分たちが以前思っていたよりも、ビジネスの世界は深く、知らない事がたくさんあり、授業を受ける度おもしろさを感じます。これから社会に出ていく中で、ビジネスがどのように変化しているのか、本当に大切なことは何なのかを学べるのは、有意義な時間だと思います。

夏の企業実習では、実際のビジネスを目の前にして、学校では体験できないお客様に対するサービスマナーや正しいビジネスマナー、ビジネスの現状を学ぶことができました。この実習を通して、知識やマナーなどを身につけることができたと感じます。しかし同時に、まだまだ足りないものがたくさんあるなど、自分自身の未熟さも感じることができました。残りの学校生活の中で、自分を磨いていけるような日々を送っていかなくてはと思います。

少ない人数ではありますが、学友とともに本学の建学の精神

「礼節」と「勤労」に基づき、学習や行事に積極的に励んでいます。時には真剣にお互いを見つめあい、時には笑顔で行事に懸命に取り組む、少人数だからこそ、すぐに助け合い、協力し合えます。そんなこのコースのあたたかい環境の中で、わたしは毎日感謝しながら楽しくこの学園に通っています。来年は就活が始まります。そんなときも力を合わせ、助け合い、お互いを尊重し合いながら過ごしていきたいと思っています。



図書館実習で

学んだこと

国語国文コース 2年

吉田 くにこ



入学してからの月日を振り返ると、様々な思い出にあふれている。

その中でも忘れられない失敗は、二年生の夏の図書館実習でのことである。県立図書館で二週間司書の仕事について学んだ。

その時は返却作業にあたっていた。本は日本十進分類法（NDC）で排架されている。分類番号の場所に戻せばよいことなのだが、私は返却された文庫本をどこにしまえばいいのか分からなかった。もともとその文庫が

あつたと思しき場所には違う本が並び、そこに並べるにはスペースがあまりにも狭かった。カウンターにいる職員の方は貸出作業に追われ尋ねることもできない。

仕方なく本棚の前で、しまえる場所を探してあちらへ行き、こちらへ戻り、本を抱えたまま動き回る。そうしているうちに、一人の少年が気になった。無言でずっと後ろにいるような気がする。私が振り返ると少年はふつと視線をずらし、首をめぐらせる。私の後ろにいるのは、たまたまだろうか。

研修で、利用者は職員に声を掛けにくいことがあると言われていたのを思い出した。

「あの、何かお探ですか？」
すると、ととつと少年は寄ってきて私がつつと抱えていた本の束をごっそり持って、はにかみと気まずさの中間のような顔をして走り去って行った。

私はそこで、周りに目を配ることの大切さに改めて気づいた。

短大に入学して多くの実習を通して、たくさんのかんことを学ん

できた。今後、私たちは地域を守る大人になる。短大で学んだことを活かして、人を思いやれる人間としてさらに精進し、声にならない声たちに耳を傾けていきたいと思う。



短大生活での成長

医療事務・医療秘書コース1年

中武 志帆



私は、この宮崎学園短期大学に入学して、礼儀、挨拶の大切さを改めて理解し、勤労の精神や医療に関する様々なことを学びました。

礼儀については、礼節の授業を通して学んだことを生かし、敬語の遣い方やお辞儀の仕方を日常生活でも実践しています。自分の敬意を相手に伝える最も身近な手段として敬語がありますが、敬語を正しく遣うことは容易ではありません。私は今までに、間違った敬語表現を何度も遣っていました。しかし、授業で習い、少しずつ遣い方を改めることが出来ました。そして、敬語を正しく遣うことも大切ですが、一番大切なのは心から相手に敬意を持つことだと学びました。挨拶も同様で、敬意を持つことで自然と立ち止まってしっかりと礼をするのだと思います。

勤労では、初めて体験したことともあり、とてもいい勉強になったと思います。暑い日も寒い日も、どこかで毎日働いている方がいるから作物は育ち、私達は生活を送る事ができます。私達が今生きていること、食べ

物にありつけること、物が溢れていること、全てに感謝しなければなりません。当たり前のように生きているわけではなく、生も死も私達は誰かに支えられているのだと思いました。

医療の勉強においては知識だけでなく、人の命に関わる者としての責任や意識も学んでいます。どのようになれば、患者さんが安心するのか、自分の出来ることを臨機応変に、かつ合理的に進められるようになりたいと思います。

これまでを振り返り、少しずつですが、成長できたのではないかと思います。そしてさらにここで学んできたことを生かし、自分の心の内を素直に表現できるよう努力を怠らず精進し、これから医療の現場に携わっていく者として成長していきたいと思っています。





専攻科

一年間を振り返って

福祉専攻

萩本 梨加



専攻科は一年間で介護福祉士の資格を取得するため、日々の講義・演習と同時に実習が行われ、入学当初は自分にやり遂げることが出来るのだろうか、と不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、講義や演習で様々な知識や介護技術を身につけることができ、また、実習では様々な利用者との出会いもあり、今となつては毎日がとても充実した日々となっています。最初の実習ではあまり演習も知識も無いままの状態で不安でしかありませんでしたが、学友と助け合い、

また、疑問に思ったことは先生や職員の方々に尋ね納得するまでご指導いただき多くのことを学ぶことができました。実習を重ねることに利用者との関わり方や介護の視点も変化し、自らの行動し利用者とのコミュニケーションをとり介護計画の立案・実施まで行うことが出来ました。そして、利用者からの『ありがとう』の言葉をいただいた時はとても嬉しく、介護福祉士としてのやりがいを感じました。実習中は決して楽しいことばかりではなく、大変なことも多くありましたが、それ以上に得たものは大きかったように感じます。認知症の利用者や麻痺がある利用者、コミュニケーションを図ることが困難な利用者など様々な利用者との出会いを通して、個々の利用者の心身の状態を把握した上での適切な介護を行うことの重要さや尊厳ある介護の大切さを改めて感じました。まだまだ経験不足ではありますが、これまでの学習で得たことを活かし、相手の立場に立って、『あなたでよかった』と言われるような介護福祉士にな

ろうと思います。そして残りの学生生活を、学友と共に切磋琢磨しながら悔いのないよう、一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。

音楽療法専攻での

1年間

音楽療法専攻

中武 由夏

私は四年制大学で心理学を学んだ後に宮崎学園短期大学専攻科音楽療法専攻に入学をしました。音楽療法専攻に入学をしようと思ったのは大学時代に学んだ子どもの発達障がいや音楽療法で支援したいと考えたからです。私自身も小さい頃から音楽が身近な存在であり、また支えでもありました。音楽の可能性を感じ、子どもたちに楽しんでもらいながら支援を出来る音楽療法に魅力を感じたのも学びたいと思った理由の1つです。

音楽療法専攻での1年間は新しい環境であったことや実習などもあり大変なこともありましたが、とても濃く充実したものでした。その中でも音楽療法臨



床実習は音楽療法について学ぶことが出来た大きな機会でした。初めての実習だったこともあり、戸惑うこともあり、沢山失敗もしましたが、その戸惑いや失敗がこれから自分が音楽療法士として成長するための大きな財産になったのではないかと思います。また、利用者の方々と音楽を通して関わりを持つことはとても楽しく、会話のみで交流するよりもさらに深い関わりが出来ることもこの実習で感じることも出来ました。また、音楽だけでなく同期の友人たちに恵まれていたことも楽しく過ごすことの出来た理由の1つです。学園祭の準備や音楽療法士の試験の勉強など多くの時間を共有出来た事を嬉しく思います。1年間という短い時間でしたが、とても充実していたので私の中で忘れることのない1年間になりました。

— 教員免許 更新講習 —

黒木 國泰



教育職員免許法が改正され、免許は更新制となりました。平成21年度から、「その時々で教員として必要な最新の知識技能を身に付ける」ための教員免許更新講習が始まっています。

本学では、初年度から幼稚園教諭対象の更新講習を行っています。それは本学が、幼稚園教諭の入学定員レベルで260人（保育科210初等教育科50）の大きな養成課程をもつからです。26年度からは、宮崎国際大学に教育学部児童教育学科が新設されます。宮崎学園は、これまで以上に本県の幼児教育センターとしての役割を担うこととなります。

25年度の本学における更新講習は、2日間の必修講習（教育の最新事情に関する事項）と更に2日間の選択講習（教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項）でした。26年度も、8月に実施することになると思っています。制度では必修講習が2日間計12時間、選択講習が1日6時間単位の3日間計18時間、合計30時間が課されています。本学での選択講習は2日間です。

ので、あと1日6時間分は私立幼稚園連合会などの講習受講により満たしていただくことになります。

本学の更新講習を受講後、その日の内に実施される試験に合格すれば、本学が履修証明書を発行します。合計30時間分の履修証明書を添えて、免許管理者である宮崎県教育委員会（教職員課更新講習担当）に更新講習修了確認の申請をし、免許管理者が更新講習修了を確認すると、教員宛に「更新講習修了確認証明書」を発行します。これにより、教員免許状は修了確認期限後も10年間は有効となつて、教諭としての職を継続できることとなります。

更新講習の対象者は、当分の間平成21年3月31日以前に授与された免許状をお持ちの方々です。注意すべきことは、更新講習の受講期間及び免許管理者への更新講習修了確認申請期間が、生年月日に応じて定められていることです。

この点、文部科学省のホームページ（www.mext.go.jp/a_menu/shoutou/koushin/）をご覧ください。

平成25年度 就職状況

就職指導課（平成26年1月20日現在）

業種別就職内定者数

	保育科	初等教育科	音楽科	人間文化学科	専攻科	合計
建設業						
製造業						
卸売・小売業	1					1
金融・保険業				4		4
運輸・通信業				1		1
電機・水道業						
不動産業				1		1
サービス業	3		1	5	1	10
医療・保健業				2		2
音楽教室						
幼稚園	27	1	3		4	35
保育所（園）	82	2			24	108
福祉施設	3	2		1	21	27
小・中学校						
公務員						
専攻科	44		3			47
他進学	2	5	2		2	11
合計	162	10	9	14	52	247

卒業生就職先一覧

運輸・通信業（1名）

宮崎交通1名

卸売・小売業（1名）

ゼビオ1名

金融・保険業（4名）

商工組合中央金庫1名、宮崎銀行1名、宮崎太陽銀行1名、高鍋信用金庫1名

不動産業（1名）

常盤産業1名

サービス業（10名）

植松商事1名、宮崎総合警備1名、ブライダルハウス島田1名、シテイサイト1名、パーソナルネット1名、宮交ショップアンドレストラン1名、ジンコーポレーション1名、沖水小こどもクラブ1名、合同会社enjoyきつず1名、コスモスポーツクラブ1名

医療・保健業（2名）

西原幼稚園1名

（県外）
日南幼稚園1名、京町中央幼稚園1名、育英幼稚園1名、土々呂幼稚園1名

たかぎ耳鼻咽喉科医院1名、保険調剤薬局つみ1名

幼稚園（35名）

宮崎学園短期大学附属幼稚園1名、昭和学園幼稚園1名、大宮学園幼稚園3名、大塚あけぼの幼稚園2名、あおしま幼稚園1名、日の出幼稚園2名、生目幼稚園1名、宮崎幼稚園1名、平和が丘幼稚園1名、木花幼稚園1名、ひかり幼稚園1名、ひろせ幼稚園1名、めぐみ幼稚園1名、共愛幼稚園1名、西都愛育幼稚園1名、天竜学園幼稚園1名、ししのこ幼稚園1名、三樺学園幼稚園2名、遍照幼稚園1名、平成幼稚園2名、一ツ岡南幼稚園1名、財光寺幼稚園2名、あがた幼稚園2名、日南幼稚園1名、京町中央幼稚園1名、育英幼稚園1名、土々呂幼稚園1名

保育園 (108名)

宮崎福祉会保育園5名、あゆみ保育園3名、霧島保育園3名、おひさま保育園2名、のぞみ保育園2名、高洲保育園2名、昭和保育園2名、生目台みどり保育園2名、綾保育園1名、希望ヶ丘保育園1名、くども保育園1名、黒田保育園1名、ソレイユ保育園1名、ひがし保育園2名、ふたば保育園1名、よいこのもり保育園1名、一ツ葉保育園1名、加納ひまわり保育園1名、権現乳児保育所2名、広瀬中央保育所1名、江平保育園1名、田代保育園1名、島之内保育園1名、たけいけ保育園3名、下水流保育園2名、川東保育園2名、菓子野保育園1名、すずらん保育園1名、たんぼぼ保育園1名、つみき保育園1名、宮丸保育園1名、旭保育園1名、安楽地保育園1名、下長飯保育園1名、吉尾保育園1名、五十市保育園1名、志比田保育園1名、鳴峰保育園1名、浄信

会保育園1名、友愛保育園2名、日向保育園1名、正念寺保育園1名、富高保育園1名、岩脇保育園1名、めぐみの聖母保育園1名、いずみ保育園1名、石井記念友愛社保育園6名、一真保育園1名、本庄西部保育所1名、三名保育園1名、木脇保育園1名、つよし会風の子1名、みなと保育園1名、串間保育園2名、南さくら保育園1名、日章福祉会保育園1名、天ヶ城保育園1名、こぼと保育園1名、光照保育園1名、和宏福祉会保育園1名、あゆみベビーホーム1名、穂北保育園1名、梅野保育園2名、美々津保育園1名、清武社会福祉会保育園1名、あけぼの保育園1名、一の宮保育園2名、あさひ保育園1名

(県外)

みんなの森こども園1名、つるみね保育園1名、しゃら保育園1名、りんどう保育園1名、ベネッセスタイルケア1名、にじいろ保育園

2名、若竹福祉会やまばと保育園1名、こどもの森保育園3名、アンジェリカ保育園1名、三篠会保育園1名

福祉施設 (27名)

サンビュウ宮崎5名、三愛園4名、あさぎり福祉会2名、ひなもり園2名、うからの里2名、石井記念友愛園1名、ゴールデンレイク1名、しんとみ希望の里1名、三納の里1名、寿幸園2名、デイサービスセンターうしたに1名、住之江1名、つよし会風の子1名、白浜学園2名

(県外)

湯出光明童園1名

大学編入等 (11名)

大阪教育大学第二部3年次編入、昭和音楽大学3年次編入、他科目等履修生など

専攻科進学 (47名)

宮崎学園短期大学専攻科福祉専攻42名・宮崎学園短期大学専攻科音楽療法専攻5名



新教職員紹介

図書館にお越しください



菅 邦男
(人間文化学科)

人間文化学科の菅です。4月から短大にお世話になっています。

担当科目は教職概論、学習指導と学校図書館、指導法研究国語、国語科指導法、生涯学習論、その他です。図書館長も務めています。子どもの頃から本好きで、ほぼ毎日本を読んでいます。館長室にいたのでまわりは本ばかり。時間があれば小説を読みたいのですが、忙しくてなかなかそうもいきません。前期は専門書ばかり読んでいたので、夏休みに入るやいなや図書館から小説を借りてきて片っ端から読みました。ドフトエフスキーの「カラマーゾフの兄弟」から始めて、ゴッゴリ、カフカ、ヘミングウェイ、サマセットモーム、シェリー、C・ブロンテ、デユマ・フィス等々。学生時代に読んだ本ばかりです。学生時代に本を読んでおくと、

将来、それを読み直してみるという楽しみがあります。皆さんも図書館に来てたくさん本を読んでみてください。なにしろ、いくら読んでもタダですからね。

以前、ニューヨークの公共図書館を見に行ったことがあります(むろん、メトロポリタン美術館やミュージカル・オペラもみました)。日本の図書館はアメリカの図書館に比べて百年遅れているといわれていたのを見てみたいと思ったのです。行ってみると、総大理石で、分館がニューヨークで八十余もあるというすごいものでした。何しろ道路を挟んで本館のすぐ前に分館があるのですからね。館長に聞くと「ここはビジネス街で働く人々向けの図書館なのだ。本館とは違うのだ」という返事でした。これが日本の明治時代に造られたものなのです。百年の差がよく分かりました。皆さんも、もしニューヨークに行くことがあれば、ぜひ見てきてください。

むろん、その前に宮崎学園図書館に来て、本に親しんでおくことが必要です。

一歩二歩着実に



宮崎 弘尚
(初等教育科)

本年度、宮崎学園短期大学に赴任しました宮崎弘尚と申します。どうぞよろしく願います。

自宅の床の間に一幅の掛け軸がかかっている。「人の一生は重荷を負うて遠き道を行くが如し。急ぐべからず。(以下略)」

ご存知のとおり「徳川家康遺訓」である。この遺訓を信条に38年間の教職生活を地道に歩んできた。

教職に就いた時、ある先輩から「5年間は先輩の言うとおりに黙って働いてみなさい。仕事が見えてくるから。」との指導をいただいた。宮崎市内の小学校に赴任し、3年生担任、環境整備部飼育栽培担当であった。先輩にいただいた指導を胸に刻み、毎朝、だれよりも早く出勤し、ウサギ、ニワトリの餌やり、水替えをしての一日の始まりであった。子ども達と共に授業をし、昼休みに跳ね回り、放課後は職員会議等の日々であった。直面する自分の仕事を処理して

いくのが精一杯の毎日であった。

今、久しぶりにあの当時と同じような気持ちで本学に勤務している。

実に新鮮で、少々緊張感があり、新しい仕事での発見、たくさんのお客様との出会いに新たな充実感と楽しさを感じている。久々に学級主任としての自分が覚醒したように思う。今まさに、「人の一生は重荷を負うて遠き道を行くが如し。急ぐべからず。」の二度目のチャレンジである。私の座右の銘「風のようにさわやかに花のようにやさしく」をモットーに、本学の先生方、学生の皆さんと力むことなく、共に学びながら地道に過ごしていきたいと思っている。

はじめまして



米田 千穂
(専攻科・福祉専攻)

はじめまして、本年度より勤務しています米田千穂です。どうぞよろしくお願いたします。と、FD2ユースで自己紹介してからあつという間でした。『光陰矢のごとし』という言葉を改めて実感した年でもありました。

宮崎学園短期大学では、福祉専攻で介護福祉士の資格取得を目指す学生の方の講義や演習、実習を担当しています。私はこれまで看護師養成に携わってきました。そのスタートをした学校は医療と福祉の融合を掲げた専門学校でしたので、福祉に関わる人材の育成にあたる諸先生方の熱意に多くのことを学びました。この一年はその時感じた『熱意』に

応えているだろうかと自問した一年でもありました。正直、私にはある違和感を抱えていました。その正体がわかったのは、介護福祉士ではないけれど同じように学生と向き合っている先生の講演を聞いた時でした。私は看護師で、介護福祉士を目指す学生の職業モデルではなく、看護師養成の時には感じなかった違和感がそこにはあったのですが、次の言葉に出会いました。学生の『サポーター』という言葉です。Jリーグのサポーターをイメージしてください。選手が頑張っていれば応援するし、不甲斐なければ…。そしていつも選手とともにゴールを喜び、勝利を目指している。それがサポーターです。超高齢社会と言われて久しいこの日本が、世界に地域福祉の道筋を示し、幸せな長寿社会を目指していくためには多くの介護福祉士が求められています。そのような中であって、

地域で生活する視点で介護支援を考へ「こどもから高齢者まで対応できる福祉の人材」は大きな魅力です。私は学生のサポーターとして、保育科で培われた笑顔で人を元気にできる強みを、社会という活躍の場へ繋ぐサポーター、介護福祉士の資格取得のサポーターをしたいと思っています。宜しくお願いします。

よろしくお祈いします



久松 尚美
(保育科)

平成25年度に着任いたしました、久松尚美（ひさまつ なおみ）と申します。

着任して間もないころは、うぐいすが朝のすがすがしい空気漂う中に美しい声を響かせてくれていました。学内に彩りを添える銀杏の大木の、季節に伴って移ろう姿を目の当たりにし、楽しみながら毎日を過ごしてまいりました。気がつけば、銀杏の大木の春夏秋冬と変化する趣ある姿をひとめぐり見とどけ、早いもので1年が経過しようとしております。この学園での1年間は、これから

更なる飛躍が期待される学生のみなさんの未知なる可能性を信じ、一人ひとりと関わりを持ちたいという心もちで過ごしてまいりました。相手を想う気持ちは、相手を動かす力になると信じています。そして私自身、将来の福祉や教育を担う皆さんを支え育てるという責任ある使命を感じながら、皆さんとの時間を大切に過ごしてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお祈い申し上げます。

よろしくお祈いします



工藤 歩
(保育科)

はじめまして工藤歩（くどうあゆむ）と申します。私は福岡県福岡市の出身で、生まれてから高校時代までの学生時代は福岡で過ごしました。福岡にある西南学院高等学校を卒業した後に、熊本の私立熊本学園大学で社会福祉学を学び、その後名古屋にある日本福祉大学大学院において福祉マネジメントについて研究をしてきました。

それから今日まで約11年間、福岡、兵庫、沖縄で社会福祉学を中心とし

て主に社会福祉士の養成、および児童福祉の専門として学生の教育および自身の研究に携わってきました。

私の専門は社会福祉の中においても特にスクール（学校）ソーシャルワーカーや、実習教育におけるシステムマネジメントです。

最近では特にスクールソーシャルワーカーを活用した子どもの地域支援・家庭支援に関する問題や、『子どもの貧困』問題に関する支援についての研究、また学校における生活課題のソーシャルワークによる解決や改善についての研究、不登校やひきこもりの問題の研究、といったことに取り組んでいます。

また近年では林野庁の木育推進事業に関連する「木育おもちや」の普及活動にも取り組んでいます。

私は「知識」「技術」「人」「環境」、この4つが、どれ一つも欠けることなく揃った教育を目指して、これまで研鑽を積んできました。教員として人により分かりやすく「知」を伝えること、その専門知識を「いかにして教えるか」という技術もあわせ持っていること、そしてそれらを学生に伝えたいという『想い』を大切にしていきたいと考えております。

今後ともどうぞよろしくお祈いいたします。

入試広報部新任紹介

職員として



末廣 芳文
(入試広報部次長)

大学で2年間、広報の仕事に携わり、今回部署が短大と一緒に兼任の形で短大の方にお世話になっていきます。教職員の方々をはじめ学生の皆さんにお目にかかることも厳しい状況でさびしい気持ちが続いています。

高校に35年間勤めていました。担任したクラスの生徒が、たくさん宮崎女子短期大学にお世話になりました。多くの学生さんが地元の保育園で活躍している様子を見ました。立派な先生や保護者になった卒業生に会うたびにすばらしい教育を実践されていることに感動を覚えていました。その学園で働いている自分に不思議な感じをいただいています。

「人が環境をつくり、環境が人をつくる」といわれます。学園短期大学の教育環境での学びが、生涯にわたって学び続ける力となるよう一生懸命学んで欲しいと願っています。そのお手伝いを少しでもできるように職員としてがんばります。是非、声をかけてく

ださい。年は取りましたが、気持ちは若いと自負しています。私の方から声かけに添えてください。皆さんの教育環境をとにもすばらしいものに創り上げていきましょう。よろしくお願ひします。

最後に自己紹介。寅年A型乙女座。妻一人、子ども二人、孫一人。都城からの通勤。気軽に声をかけてくださいネ。

頑張ります



林田 高志
(入試広報部書記)

宮崎学園短期大学の姉妹校である宮崎国際大学の入試広報部を担当しております林田と申します。本年度より宮崎学園短期大学の入試広報部兼務となりました。私の先輩、同級生、後輩にも、宮崎学園短期大学の学び舎で学生生活を送り、多くを学び、社会人として元気に頑張っている方々がたくさんいます。そういった意味では、姉妹校という以上に親しみを感じています。また、キャンパスでは、学生がすれ違う度に挨拶をしてくれます。学生と直接関わる機会が少ないですが、アットホームな環境で働けることをとても嬉しく思います。

私は入試広報部で主に広報関係の業務を担当しています。広報物の作成や広告、ホームページを利用した情報発信等のPR業務です。本学を受験、入学してもらうための業務であり、大学の経営に直轄する業務です。現在は大学全人と言われて久しく、大学の魅力、特色、個性を前面に押し出し、受験生、保護者、社会に理解していただく必要があり、それが出来なければ大学の発展はありません。それだけ入試広報は重要であり、また、責任の重い業務だと思っています。

短期大学では2年間という短い期間に社会人として必要な礼節や技能を修得しなければなりません。その目標に向かい勉学に励み、また、忍ヶ丘祭や運動会などの学校行事にも全力で取り組む姿を見ると、皆さんが元気に学生生活を送ることが学校全体の活力になると実感しています。

より多くの新入生を迎え、さらに活力ある学校となるよう一生懸命頑張りたいと思います。

サポートします



里 美奈子
(入試広報部書記)

入試広報部の里と申します。私は宮崎国際大学を平成二十年に卒業し、宮崎学園で働かせていただいていた五年目となります。本年度より宮崎学園短期大学と宮崎国際大学の入試広報部が統合され、学園短期大学にオフィスが移りました。

学園短期大学は半世紀近くの歴史があり、多数の卒業生が県内外で活躍されています。学内を歩くと在学生が気持ちの良い挨拶をしてくれます。ここに建学の精神「礼節・勤労」が根付き、それが卒業後もしっかりと受け継がれていることを感じます。

さて、私が担当する入試広報は業務が多岐にわたりますが、学生募集が主で、訪問先の高校などで母校を紹介するとてもやりがいのある、また誇りのもてる仕事です。

短期大学や大学が、学びの場であることは言うまでもありませんが、社会で必要とされる忍耐力を培う場所でもあると思います。二年間は決して長くはありませんが、深く広く学び、色々なことにチャレンジしていただきたいと思っています。皆さんが将来を見据えて学業・実習等に励まれる姿を学外へ発信し、微力ながら宮崎学園の発展に貢献できればと思っております。



サークル活動紹介

「素敵な仲間」

初等教育科2年 河野仁美



バレーボール部

私達バレーボール部は二十名以上の部員が居り、学科や先輩後輩関係なく毎週火曜日と金曜日に活動をしてきました。毎回、ゲームをし、経験者の学生はもちろん未経験者の学生の素晴らしいプレーがあり、一生懸命な姿を沢山見ることができました。初めは、経験者・未経験者の力の差があり、なかなかラリーを続けることができませんでしたが、徐々に上達していき楽しくバレーをすることができました。また、サークル活動を通してクラス以外の学生と関わる時間も

多くあり、色々な経験をすることができました。この一年間で沢山の仲間と出会い素晴らしい人間関係を築きあげることができ楽しく充実した活動をする事ができました。

「フットサルサークル」

初等教育科1年 谷口千紘



フットサルサークル

私たち「フットサルサークル」は男子7人、女子6人の計13人の部員で、みんなの予定が合う木曜日に活動しています。活動内容は主に実践練習で、パスやゲームなどを行っています。アルバイトが重なるたりしてなかなか人数がそろ

わず、活動ができないこともありませんが、みんななるべく予定を空けるようにして、一緒に楽しく活動することをモットーにしています。フットサルは屋内の競技ですが、活動は屋外のグラウンドで行っています。部員同士で普段から集まり、コミュニケーションを取ることでチームワークの向上などを図っています。そのため部員同士の仲が良いので一緒に遊んだりすることも多く、とても楽しいサークルです。初心者も大歓迎で随時入部を受け付けています。

「野球サークル」

部長 新名和貴

私たち野球サークルは一年生一人、二年生六人、専攻科生四人とマネージャー四人で活動しています。楽しく野球ができるように自分たちで対戦相手や野球場を借りて試合や練習を行っています。

また、毎年熊本である大学の野球大会に参加して、野球を通じて九州の他の大学のチームと交流を深めたりもします。野球経験者はわずか四人しかいませんが楽しく活動しています。

今年は人数が集まらず本格的な活動は数試合しかできませんでし

た。来年は先輩がこのサークルを続けてくれるだろうと期待しています。初心者でも大歓迎ですので興味がある方は入部して盛り上げてほしいです。



野球サークル

「サークル活動」

剣道部部长 山下汀

剣道部は、今年度より立ち上がったサークルです。

部員は現在4名ですが、高校まで剣道をしており、「また剣道をしたい!」と思い続けていたメンバーが集まって結成しました。高校までは全国を目指して毎日のように練習を重ねてきた剣道ですが、サークルを立ち上げるまでなかなか実践できる環境がありませんでした。今は、大好きな剣道を楽しみながら続けられることができ、大変うれしく思っています。少

ない人数ではありませんが、皆気合を入れ、メリハリをつけて活動していき、試合にも出場したいと考えています。興味のある方、ぜひ一緒に活動しませんか。



剣道部

「卓球同好会について」

顧問 岩切 徹志

卓球同好会のメンバーは、保育科1年の田代茜さんただ1名です。田代さんは、中学時代から県外で腕をみがき、全国中学校体育大会で団体2位、高校は埼玉県の名門『正智深谷高校』に進学し、2年生の全国高校総体で団体3位、3年生でも3位の榮譽に輝きました。郷里の宮学短大に進学し、市内の高校や社会人クラブの人を練習相手にしながら頑張りま

した。全九州学生秋季卓球選手権でベスト15に入り、11月に神戸で行われた全日本大学総合卓球選手権大会に出場を果たしました。結果は一回戦で惜敗しましたが、恵まれない環境の中での健闘はみごとだと思えます。来年には、新入生が入会することですので、これを契機として更にメンバーが増え、団体戦に出場できることを期待しています。



卓球同好会

「皆様に支えられた
コンクールの思い出」

音楽科2年 岡崎 美智子

私達、宮崎学園短期大学合唱団は、本年九月、鹿児島で行われた全日本合唱コンクール一般の部において金賞を受賞致しました。本年は社会人の合唱グループとして活動している「宮崎ピゼット

・ドルチェ」と合流し参加致しました。一般の部の参加は短大合唱団としては初の試みでありました。有川サチ子先生の指導のもと、全力を出し切ることができ、金賞を頂きました。

短大合唱団として七名が参加し、スケジュールの合間をぬいながら練習に励みました。皆一回、一回の練習を一生懸命に取り組み、社会人団体の一員としてふさわしく歌い切りました。

本番当日は不安もありましたが、顧問の山下恵子先生のサポートもあり何の不安もなく歌うことができ、最高の思い出をつくることができました。改めて歌う楽しさを感じることができ、様々な人に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございます。



合唱団

「皆で掴み取った賞」

保育科2年 米良 寿明



吹奏楽部

私達、宮崎学園短期大学吹奏楽部は、去る8月4日(日)に宮崎市民文化ホールで開催された「九州吹奏楽コンクール宮崎支部・大学の部」において、銀賞を受賞しました。

本大会では、課題曲で白石優拓・作曲「祝典行進曲 ライジングサン」自由曲では福島弘和・作曲「おきなくさ〜宮沢賢治の愛でた花〜」の2曲を演奏しました。両方とも大変難しい曲でしたが、短期大学で初めて楽器を持った部員も多く、最初は音を出すのも精一杯でした。また私自身も部長としてまだまだ未熟で部員に多くの迷惑をかけてしまいました。

一度はコンクール出場も危ぶまれる状況でした。

しかし周囲の先生方や先輩方に支えられ、また部員一同、一丸となって猛練習に励み本番を迎える事が出来ました。

この賞は、私や役員の方だけでなく、皆で掴み取った賞だと思います。

吹奏楽部に関わって下さった先生方や保護者の皆様、先輩方、そして一緒に演奏してくれた部員に心から感謝しています。

これからも日々精進していききたいと思えます。

「文芸・漫画研究会」

保育科2年 市来 明日香



文芸・漫画研究会

私達、文芸・漫画研究会は、イ

ラストや小説を中心とした創作活動を行っています。

時にはお題を出して描きあい、時には共同製作をし、先輩後輩互いに刺激し合いながら和気あいあいと活動しています。創作を通して自分の好きな本や漫画、アーティスト等についての交流が出来るのでとても楽しいです。

今年の秋の忍ヶ丘祭では、「Trick and treat」という、これまで活動してきた集大成の詰まった冊子を販売しました。イラストと漫画・小説を分けて二冊販売したのですが、多くの人が見に来てくださり、去年にも増して盛り上がりつつあったのではないかと思います。

また、今年は冊子の販売と一緒にハンコ、封筒、シールなどの雑貨も販売しました。こちらは、文芸・漫画研究会の冊子製作を手伝ってくれた生徒とのコラボ商品です。それらの宣伝を毎年部員がメイドさんや某アニメのコスプレなど、気合いの入った装いで宣伝に向かいます。

去年にはない試みをいと、多くの企画を取り入れたので、多くのハプニングや仲違いもありましたが、部員一人ひとりが大きく成長した一年となったのではないで

しょうか。

文芸・漫画研究会はいつも笑顔が絶えないサークルです。私達と共に創作に熱くなってみませんか？部員ともども、心よりお待ちしております。

「茶道部」

茶道部部长 末永 侑



茶道部

私たち茶道部は、図師先生のご指導の下、日々稽古に励んでいます。亭主と客の作法を身に付け、普段の生活でも気持ちの良いおもてなしが出来るよう努力しています。

茶道部の大きなイベントは、オープンキャンパスでのお茶の振る舞いと定例茶会です。気持ちの良い案内、丁寧な言葉遣い、美し

い所作のお点前等、日々の稽古で培ってきたものを発表する良い機会です。また多くの方とお会い出来るので「一期一会」を一番に感じられる瞬間でもあります。

そして私たち自身も、多くのお茶会に参加しています。四季折々のものを愛で、多種にわたる道具を拝見しながら、日本人としての豊かな心も育んでいます。

「新たな伝統を」

初等教育科1年 渡邊 あかり



陽だまり部

陽だまり部は、創部二年目の新しいサークルですが明るく楽しく元気よく活動しています。これまでの大きな活動として、「えれこっちゃん宮崎」での市民総踊り

サークル活動紹介

と、「24時間テレビ」のボランティアに参加しました。えれこつちや宮崎では、学長先生を始め沢山の先生のご協力のもと、学生らしく若さ溢れる踊りを披露することが出来ました。また、24時間テレビボランティアでは、募金活動やイベント会場の援助、募金集計など内容はさまざまでしたが、常に笑顔で楽しんで活動が出来ました。

普段は学内でのレクリエーション活動を通して交流していますが、このような学外での活動で社会貢献が出来れば良いです。来年度も様々なイベントに参加し、新たな伝統を作ってみたいと思います。

「Inside Out」

部長 新穂 友章

僕達「Inside Out (軽音部)」は今年の春に立ち上げたサークルです。メンバーは現在五名。そのほとんどが初心者です。このサークルを立ち上げたのは、秋の忍ヶ丘祭でみんなで思い出作りの一つとして出場をしようという理由からでした。みんなが共通していたことは音楽が好きということでした。

音楽の知識を持っていたのは自

分ぐらいでしたので、みんな一からのスタートでした。短い練習期間ながら、秋の忍ヶ丘祭は大盛り上がりでした。

このサークルを立ち上げて、全くやったことがなくても努力をすれば成功することがわかり、また、仲間との絆も深まって、とてもいい経験になりました。これからも応援のほどよろしくお願いします。



軽音部

「和装サークル」

保育科1年 森 春佳

着物に興味がある！着物を自分で着てみたい!!そんな熱い思いのある部員が揃ったサークルです。

今年の五月に創設したばかりで、外部講師の納先生のご指導の下、毎週火曜日と木曜日の2回、楽し

く時には真面目に厳かに活動しています。十二月に開催される「全日本着物装いコンテスト」九州大会に出場し良い成績が収められるように頑張っています。私たちが出場するのは個人と学校対抗(三人一組)の部で、どちらも早く美しく着物を着ることが求められます。中でも、学校対抗の部では三人の息の合った身振り手振りの美しさが評価されます。週2回の練習日を楽しみに、部員六人で息の合った装いを目指し、真面目に楽しく頑張っていきたいと思います。



和装サークル

「Hey! Ryo! Sports!」

部長 牛之濱 里奈

このサークルは寮生だけで結成された寮生の親睦を深めるための

サークルです。月に1度体育館で活動し、1、2年生という壁を無くして体を動かすことで友情を深めてきました。寮生活をより良いものにしようとサークルが終わった後は必ず反省会を行い、改善点を話し合うことで次の活動へとつなげてきました。ドッジボールや大根抜きゲーム、バスケットボールなど、様々な競技を行ってきましたが、常に寮全体で活動を考えることで1人1人の意見をできるだけ反映させるよう努めてきました。

寮は集団生活の場なので月に1度コミュニケーションを取る機会を設けることが、先輩後輩の仲を深めることにつながり、寮での生活が楽しいものとなりました。



Hey! Ryo! Sports!

平成26年度オープンキャンパス 7・8・3月の3回開催!

平成26年度も3回開催いたします。

ミニ講座、製作体験、学生の作品展示や入試相談、お楽しみ抽選会など楽しいプログラムで毎回参加者から好評を頂いているオープンキャンパス。「出願者の9割近くがオープンキャンパス参加者」というデータをみても、受験生がいかに関心を持ってオープンキャンパスを重要視しているかがわかります。

本学に興味をお持ちの方ならどなたでも大歓迎です。高校生のいる友人やお知り合いがいっしょにしゃべったら、是非声をかけてみてください。



9:00~	受付開始
9:30~9:40	ウェルカムコンサート
9:40~	オープニングセレモニー 学長挨拶 大学概要説明 卒業生からのメッセージ
10:30~11:10	ミニ講座 1
11:20~12:00	ミニ講座 2
12:10~	学食体験 ※
13:30	終了

※第1回と第2回に実施します。

無料送迎バス



JR宮崎駅東口	8:50	9:15	10:35
JR南宮崎駅	9:10	9:35	10:55
JR清武駅	9:00~10:00の間随時		



※バスの時間は変更する場合があります。必ず事前に本学ホームページやフリーダイヤル(0120-310-796)でご確認ください。

※3月8日のバス運行時間、プログラムは異なります。

各地で入試相談会も開催します。

日程	時間	会場
6月7日(土)	13:00~16:00	本学会議室
	13:00~16:00	延岡市社会教育センター
	13:00~16:00	小林市中央公民館
	13:00~16:00	日南テクノセンター
6月8日(日)	10:00~13:00	宮崎市中央公民館
	10:00~13:00	日向市文化交流センター
	10:00~13:00	都城コミュニティセンター
7月6日(日)	9:30~12:00	オープンキャンパス会場
8月3日(日)	9:30~12:00	オープンキャンパス会場
3月8日(日)	9:30~12:00	オープンキャンパス会場

しのぶ会だより

総会員数 18,201名 (平成26年2月現在)

初等教育科及び音楽科は 平成26年度 (平成27年3月) が最後の卒業生となります。

昭和42年(1967年)に定員50名で設置された初等教育科は3,231名の卒業生を送り出し、宮崎県内外の公立小学校教員として300名近くが採用されています。

また、昭和45年(1970年)に定員50名で設置された音楽科は1,336名の卒業生を送り出しています。全国音楽合唱コンクールでの金賞受賞等輝かしい業績を残しています。



初等教育科1回生



音楽科1回生

近況報告

平成10年3月卒業 初等教育科B組

井手奈穂子（旧姓 蔵屋）

私は、初等教育科を卒業後、幼稚園教諭として働き主任を務め、更なる向上の為、保育士試験を二年にわたり受験して、保育士資格を取得しました。

宮崎学園短期大学では、子どもの成長や発達を学ぶための授業はもちろん、実際に子ども達の前で使える手遊びや歌遊びを学び、短大で作ったパネルシアターやその作り方は現場ですぐに生かすことができました。そして、先生方の体験談なども実際の現場でとても役立つと思います。

小学校や幼稚園実習での貴重な経験も、今に生かされています。小学校・幼稚園教諭免許を取得したことで教育と保育の幅広い視野で見ることができ、保育所経営にあたり、大変役立っております。

少子化の社会情勢の中で、子どもを対象としたビジネスである保育園事業は大丈夫なのか？将来性はあるのか？と疑問を持つ方は多くいらつしやいます。しかし実際は少子化よりも深刻な問題となっているのが、長引く不況による働きに出なければならぬ家庭現状と女性の社会進出により、仕事にやりがいを見出している女性増加に伴う「保育施設の不足」です。

市役所子ども課の方のお話では宮崎市では現在の統計上、待機児童はほぼ0ということですが、しかしながら、預けたい保育園に入れない、または年齢別定員があり兄弟で入園出来ない、または一時保育は受け入れてもらえないなどの待

機児童は見受けられるとのこと。

さらに一人ひとりの子どもをパーソナルにサポートしてもらいたいという、保育の質の高さや教育的内容を重視する傾向にあります。

その実現可能な保育所として昨年6月に夫が園長のもとびっこランドおつかい園を開園しました。

実際、開園直後から多くの問い合わせがありたくさんの方々の来園そして面接をさせていただきました。需要が大きく、嬉しくもあり、正直驚いています。

日々子ども達は成長しています。そんな子ども達と一緒に時間を過ごせることはとても幸せです。保育士は子ども達の命を預かる責任の重い仕事ですが、自分自身が全力で子ども達と向き合えば、それ以上のものが必ず返ってきます。純粋で無限の可能性を秘めている子ども達と共に過ごし成長できるこの職業はとても素敵です。現在、免許取得に勉強に励んでいらつしやる学生の皆様、保育士という素晴らしい夢に向かって頑張ってください！

地域に密着した理想的な保育所を築き上げていくために、私も夢に向かって頑張ります！



平成19年3月卒業 保育科D組

蓑輪真弥



私は今、新潟県の佐渡島を拠点として「太鼓芸能集団 鼓童」という団体に所属し、太鼓奏者として活動しています。1年の3分の1を佐渡島で生活し、残りの3分の2は国内、海外の各地で公演活動を行っています。昨年からは歌舞伎俳優で人間国宝の坂東玉三郎さんを芸術監督に迎え、新しい演出の舞台上に挑戦しています。

在学中は保育科で学んでいましたが、卒業後、父親が和太鼓の指導、普及のためには太鼓が好きだった私は1年間ブラジルに行くことを決めました。そこで「鼓童」の公演を鑑賞し、一瞬で心を奪われました。ここへ行ったら何か得られるかもしれない。太鼓を通して自分の生きる力をつけたいと強く思い、帰国後に試験を受け、2年間の厳しい研修生活を経て舞台メンバーになりました。

短大のときに「礼節」という時間がありませんでしたが、それがまさに今プロとして舞台に立つ上で、とても大切な時間であったことを実感しています。「生活全てが舞台へ繋がる」と先輩から教わり、物を大切にすることはもちろんのこと、扉の開け閉めや、物を取るときは所作、人への振る舞い方などに気を配り、歩き方一つにしても何時間も稽古を重ねます。朝から晩まで舞台のことを考え、時間に追われながらも「自然で美しい所作」を

日々心がけて生活しています。太鼓を運んだり置いたりという行為も、自然に美しく行えるよう意識しています。

そんな生活の中で私が特に充実感を味わうのは、小学校や中学校の体育館に伺って行う「学校公演」で、太鼓に関心のない子どもたちが真剣に見入ってくれた時です。太鼓を通して子どもたちと触れ合うことができ、生きた音やエネルギーを届けられることが、とても幸せです。これからも前向きに新たなことに挑戦し続け、さらに世界中の人々と繋がっていきなりたいです。



同窓会から



昭和47年保育科C組卒業

代表者 松本 和子



クラスメイトに奄美大島から来た人がいました。彼女のことを私たちは苗字の一字をとり、沼ちゃんと呼んでいました。沼ちゃんは卒業すると奄美へ帰り幼稚園で働き奄美の人と結婚しました。

今回、奄美大島で同窓会をしたのはその沼ちゃんがいいたからです。千葉や大分からも集まり12名の出席でした。

千葉からの人は東京からでし

たが他は鹿児島空港から飛行機で奄美大島に行きました。奄美大島が近づくとワクワクしました。空から見る奄美はサンゴ礁の關係で海が素晴らしく宮崎の海とはまた違った色をしていました。奄美に2泊し青い空、碧い海、海に沈む夕日（私は初めて海に沈む夕日を見ました）、海の幸、果物のグアバ（グアバジュースは好きだけどその実を見たのも食べるのも初めてでした。種ごと食べるんですよ）自然を満喫しながらのおしゃべり、みんなの顔も笑顔いっぱいでした。

私たちのクラスは明るく元気でおしゃべりなクラスでした。今思うと何をあんなに話していたのだろうと思います。こうして年月を重ねてみんなと会う事ができるのは嬉しいことです。

卒業してからの40年はあつという間に過ぎました。これからも最終学歴を過ごしたみんなと会える幸せを持ちたいと思います。

私たちは昭和47年の3月に卒業しました。沖縄の日本復帰は昭和47年（1972）5月15日で卒業2ヶ月後です。40年過ぎてまだまだ基地問題をかかえており胸が痛みます。

昭和47年保育科A・B組卒業

代表者 大野 久美恵(旧姓木原)



還暦旅行を楽しみました。

4年がかりの計画の元、13人の仲間と4泊5日の北海道の旅です。

毎年6月に一泊の「紫陽花会」を開いている私達は「60才になったら共通の思い出作りにみんなで行きましょう!!」の目標をたて、めでたく還暦を迎えた今年、計画を実行に移しました。

20歳でそれぞれの道へと羽ばたき、長かったような短かったような、40年の歳月の重みを背に、まずは利尻、礼文島から旅の幕開けです。

礼文では、島いっぱい咲き誇

る高原植物を頭に描きながら観光バスに乗りこみ、日本で唯一自生する「アツモリ草」なるものに「アレ!?!」これから集まる度に話題になる事間違いないナシの花との出会いになりました。

6月の北の地の寒さは想像をはるかに越す厳しさ、しかし誰ひとりとしてこごえる程の寒さに風邪もひかない夕フさは、さすがの母さん達です。

3泊目は旭川に移動して、旭山動物園を楽しみましたが、ここは今年一番の暑さとかで、歩くだけで汗がタラ〜り、宮崎よりもはるかに暑い6月の北海道を体験しました。

私達のもうひとつの楽しみは、夜の北海道です。

毎夜、おいしい食事処を探しては、美味しいお酒と新鮮な海の幸を存分に満喫しました。地元で食べるカニやウニの味は絶品!!

旨いものでひと回り成長したお腹と、楽しかった思い出、持ちきれない程のお土産を抱えてにぎやかな還暦旅行は幕を閉じました。

お互いの楽しい人生を確かめ合いながら、次のお祝い旅行までの17年間を楽しみに待つことにします。

■昭和55年保育科D組卒業
代表者 野元 康子(旧姓 永山)



皆さん、こんにちは。
私たち、55年度卒業の保育科D組は、今まで12月22日と決まっていたのですが、今回は、7月14日に12回目の同窓会を宮崎観光ホテルで開催しました。

同窓会は、私にとっては、皆さんとお会いできる楽しみな日です。また、担任の矢口先生のお話に、当時の授業の懐かしい光景が蘇り、あの頃に返った気持ちで聞いておりました。

実は、12年前の同窓会の時に、20年ぶりにお会いする皆さんの顔をすくすくに思い出せず、「エー、

誰だったっけ」と不安になったこともありましたが、時間が経つにつれて、昔の懐かしい同級生の顔が蘇り、ほっとしたことを思い出します。

前回から12年が過ぎ、皆さんがそれぞれに仕事や子どものもとで色々な経験をされ、今では責任ある仕事に就かれている方、お孫さんの誕生を喜ばれたり、あるいはご両親の介護に頑張っておられたりとお話を聞きながら、短大を卒業してからの32年の長い歲月は、あつという間に過ぎていったように感じました。

最後に、毎回色々準備をしてくださった永久幹事の黒木さん、岩尾さん、深江さん、梅田さんには心から感謝申し上げます。

これからも、このような機会を作っていただき、皆様とお会いし楽しい時をすごせれば幸いかと思っております。

本当に楽しい時間をありがとうございました。

■平成2年初等教育科B組卒業

代表者 東 公代(旧姓 片野)

平成24年11月23日、平成2年卒宮崎女子短大同窓会が開催されました。私たち初等教育科B組は、各年おきに同窓会を開催している。

その度に、近況報告会の話に花が咲き、大変盛り上がるものであります。

今回も前回に引き続き、かつての私たちの担任の濱田先生も参加して下さる中での総勢十二名での会であった。

ずいぶんと年月は過ぎていくのに、会った瞬間からあの時代の初々しい女学生の心に戻るから不思議なものだ。

「ちっとも変わらないね。」

お世辞のようにも聞こえるが、外見はさておき、中身は本当にあの時のまま。みんなあの頃と変わらず素直で優しくてもおもしろくて楽しいひとときはあつという間に終わりを告げようとしていた。

しかしながら気になる話題もあつた。

私たちは初等教育科なので、学校の教諭として、仕事と家庭の両立をしながらがんばっている人たちが結構いる。

年を追うごとに、この仕事と家庭の両立に悩む人たちが増えてきている。

学校現場で言うところ、ミドルリーダリー的存在であり、立場的に板挟みになること、プレッシャーがかかること、仕事量が多くなること

等があげられる。家庭で言うところ、子どもたちも大きくなり大きくなつた年々の悩みであるとか親の介護、PTA活動、地区の活動など時間がいくらあっても足りない。これらを両立させなければならぬわけ、当然悲鳴をあげてしまうのである。

しかし、この愚痴とも言える話をし合いながら気がついた。夢がかなつたこと、家族がいることの幸せをかみしめなければ、この環境こそがありがたい。

「また明日から前を見てがんばろうね。」

そうみんなが誓い合った素敵な時間となつた。



■平成13年忍ヶ丘寮卒業

代表者 児玉 良子



卒業して12年、ようやく実現した同窓会。寮ということで県内外から入寮しており、地元に戻っている人も多く、開催に至るまでの道のりはとても長いものでした。しかし今回、延岡市での開催にゴールデンウィークを使ってたくさんの方が参加してくれました。

当時のままの呼び方で現在の状況を一人ずつ紹介し、皆で作成した寮の文集、アルバム、写真などをしながら盛り上がりました。また、文集の中のNo.1アンケートから、延岡の特産品付きのクイズ

を楽しみ、寮での写真を見て当時の事を思い出しました。クラスの友達よりも長い時間を共にし、同じ釜の飯を食べた仲間であり、寮祭や運動会、忍ヶ丘祭などの行事を丸と成って企画・運営し、成功させることが出来た仲間ということ、幅広く、深い話題が多くありました。特に、体育祭では寮祭から誕生したダンスが、全校ダンスとして取り上げられ、短大生・専攻科の先輩、先生方も一緒に踊り、皆が一つになるという圧巻の風景を昨日のことのように覚えていきます。

社会に出てからも、この寮生活での経験が活かしているということを実感していると皆が口々に言っていたのがとても印象的でした。

2年間という短い時間の中で、大切なことをたくさん学ぶことが出来た『忍ヶ丘寮』寮監さんや寮母さんへの感謝の気持ちを感じた時間でもありました。お元気でいられることを願っております。

7時間があったという間に過ぎてしまった同窓会！今回参加できなかった皆さんも、次回は是非参加してほしい、遠い地での友に元気をもらうため、次回も2年後

に開催したいと思います。

■平成16年保育科A組卒業

代表者 福重 里奈(旧姓美坂)

はじまりは出産をきつかけに集まった仲間と話が弾み、同窓会の計画が進みました。

実は2回目の同窓会。1回目には卒業して5年後に集まり、その時は30人も集まりました。

そして今回。出産間近だったり、結婚して県外に出ている等いろいろな事情で参加が難しく15名での同窓会となりましたが、久しぶりの再会にも関わらずすぐに打ち解けていました。外見は少し落ち着いたように(？)見えませんが、中身は学生の頃と全く変わらずとても懐かしかったです。

結婚している人も増え、子どもの話だったりこれから新婚旅行計画の人もいたりして幸せのお裾わけもありました♡

他にも仕事の悩みを聞いてもらったり。気付けばいつも同じ話しをしているような…なんだかんだ言いながらもみんな保育士や介護士などを続けて頑張っていてそれがお互い励みにもなっています。

会話も食欲も落ち着いたところでビンゴ大会☆数字が出るた

びに一盛り上がり！(たまにはこんなイベントも楽しいよね)全員に景品が渡ったところで中身チェック！(希望通りの物を当てた人もいて予定していた4時間があったという間に過ぎていました。

今回わざわざ福岡から来てくれたAちゃん、雨の中、都城から来てくれたAちゃん、ホテルまで予約して来てくれたRちゃん、そして忙しい時期にも関わらず集まってくれたみんな、本当にありがとう。

今回参加できなかったA組のみんな、次回開催のときはみんな集合できるといいなあ♡



訃報

「ぎんぎんぎらぎら 夕日が沈む
ぎんぎんぎらぎら 日が沈む
まっかつかつか 空の雲
みんなのお顔も まっかつか
ぎんぎんぎらぎら 日が沈む」

これは、ご存じの童謡「夕日」の歌詞です。

保育科だけでなく卒業生の多くが

この曲を聴くと思えば先生。

それが山口孝道先生です。

「ぎんぎんぎらぎらと…」と

眼鏡越しのやさしい笑顔で歌い、

踊られていた姿が目には浮かびます。

平成二十五年七月二十三日八十一歳をもって永遠の眠りにつかれました。

山口先生は本学開学の昭和四十年から

在職されており、本学の特に保育科の基礎を

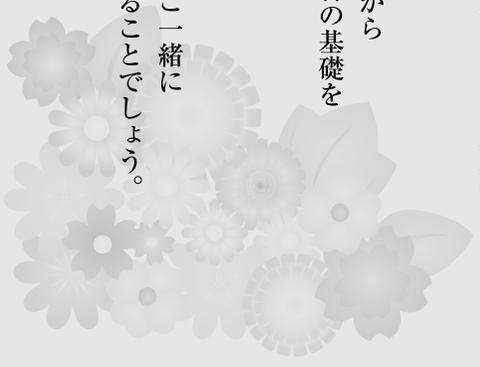
築かれた先生でした。

きつと今頃は

昨年亡くなられた大坪孝雄先生とご一緒に

短大の昔話に花を咲かせておられることでしょう。

ご冥福をお祈り致します。



お知らせ

クラス会を開きませんか？

同窓会しのぶ会では、卒業後も会員の皆様の交流の場としてクラス会を開催していただき、同窓会活動を盛り上げ、延いては母校の発展に寄与していただくことを目的にクラス会への援助を行っております。

クラス会を開催された場合は、是非援助金の申請をしていただきますようご案内いたします。援助金はクラス毎に年一回、一万円の支給となっております。十名以上で開催し、感想文（原稿用紙二枚程度）、参加者全員の住所録及びクラス会当日の写真、領収証（二万円以上）、代表者の連絡先及び援助金受取方法を添え、しのぶ会事務局へ申請してください。

なお、申請時にお寄せいただいた感想文・写真は、本機関誌「忍ヶ丘」の「同窓会から」のコーナーに掲載させていただきますので、ご協力・ご理解ください。

※クラス会援助金申請のために提出していただいた個人情報には、同窓会運営の目的以外には使用いたしません。

しのぶ会連絡先

〒889-1605 宮崎市清武町加納丙1415番地

宮崎学園短期大学同窓会 しのぶ会事務局

TEL 0985(85)0146

FAX 0985(85)0101



ご利用ください!

- * この用紙は、宮崎学園短期大学（宮崎女子短期大学）卒業生用証明書申込用紙です。
- * 証明書が必要な場合は、この用紙をご利用ください。
- * 証明書申込みの際、現住所等に異動があった場合は、しのぶ会事務局にて住所等を変更しますので、異動通知を出す必要はありません。

- ※ 各項目は、必ずご記入ください。記入・押印漏れのある場合は、発送ができませんのでお気を付けてください。
- ※ 学籍番号につきましては、不明の場合記入する必要はありません。
- ※ 内容確認をおこなう場合がありますので、必ず連絡できる住所・電話番号をご記入ください。

証明書申込用紙

証明書名	枚数	証明書名	枚数
卒業証明書		保育士資格証明書	
成績証明書		司書講習終了証明書	
学力に関する証明書			
*証明書1枚につき300円		金額合計	円
卒業年	昭和・平成	年	月
卒業			
学科名等	科	組	コース
学籍番号			
生年月日	昭和・平成	年	月
現氏名			日生
(旧姓)			㊦
現住所	〒	—	
電話番号	()	—	

(希望送付郵便 普通・速達)

証明書申込用紙

証明書名	枚数	証明書名	枚数
卒業証明書		保育士資格証明書	
成績証明書		司書講習終了証明書	
学力に関する証明書			
*証明書1枚につき300円		金額合計	円
卒業年	昭和・平成	年	月
卒業			
学科名等	科	組	コース
学籍番号			
生年月日	昭和・平成	年	月
現氏名			日生
(旧姓)			㊦
現住所	〒	—	
電話番号	()	—	

(希望送付郵便 普通・速達)

注 意 事 項

- * 証明書料金は、1枚につき300円です。返信用送料とともに切手か郵便為替に換えて封書にて郵送してください。
- * 証明書は、期日に余裕を持ってお申込みください。
- * 証明書申込先住所・返信用送料明細は、申込用紙裏面記載のとおりです。
- * お寄せいただいた個人情報に関しましては、目的以外には使用しません。

*** 注意事項をよく読み証明書申込用紙に必要事項を記入して封書にてお申込みください。**

証明書申込先

〒889-1605 宮崎市清武町加納丙1415

宮崎学園短期大学 証明 係

TEL 0985-85-0146

返信用送料明細

証明書3枚まで普通郵便料 120円

速達郵便希望の場合 プラス270円

* 送料の過不足が出た場合は、証明書送付時に
通知します。

通 信 欄

*** 注意事項をよく読み証明書申込用紙に必要事項を記入して封書にてお申込みください。**

証明書申込先

〒889-1605 宮崎市清武町加納丙1415

宮崎学園短期大学 証明 係

TEL 0985-85-0146

返信用送料明細

証明書3枚まで普通郵便料 120円

速達郵便希望の場合 プラス270円

* 送料の過不足が出た場合は、証明書送付時に
通知します。

通 信 欄

異動通知は必ず出してください！

会員の皆様方の身上に異動が生じた時には、必ずこの葉書をお出してください。
また、お寄せいただいた個人情報につきましては、同窓会しのぶ会運営の目的以外には使用しません。

※今後あなたの住所・電話番号・勤務先等に変更等があった場合、また結婚して改姓・転居される場合には、二面倒でもこの葉書を利用してご連絡ください。
※同窓会の旧職員・先輩・後輩を問わず住所不明の方の消息や住所等をご存知でしたらぜひお知らせください。
※点線にそって切りとり、ご使用ください。

異動通知連絡カード

※どちらかで囲む 平成 年 月 日 報告

①本人の訂正・異動通知	掲載頁	頁	年版
②知人(本人以外)の訂正・異動通知	頁	行目	年
※②の場合連絡者名	卒年	昭和・平成	年
	学科	科	組

卒年	昭和・平成	科	組	(不明者No)
フリガナ	姓	旧姓	名	
氏名	()	()		
〒				
現住所				
	市外局番	市内局番	番号	
	市外局番	市内局番	番号	
勤務先				
	市外局番	市内局番	番号	
	市外局番	市内局番	番号	
確認事項	同窓会しのぶ会からの発送に関して 希望する ・ 希望しない			

異動通知連絡カード

※どちらかで囲む 平成 年 月 日 報告

①本人の訂正・異動通知	掲載頁	頁	年版
②知人(本人以外)の訂正・異動通知	頁	行目	年
※②の場合連絡者名	卒年	昭和・平成	年
	学科	科	組

卒年	昭和・平成	科	組	(不明者No)
フリガナ	姓	旧姓	名	
氏名	()	()		
〒				
現住所				
	市外局番	市内局番	番号	
	市外局番	市内局番	番号	
勤務先				
	市外局番	市内局番	番号	
	市外局番	市内局番	番号	
確認事項	同窓会しのぶ会からの発送に関して 希望する ・ 希望しない			

郵便はがき

8891605

50円切手
をはって
ください

宮崎市清武町加納丙一四二五
宮崎学園短期大学内

宮崎学園短期大学同窓会
しのぶ会 行

通信欄

郵便はがき

8891605

50円切手
をはって
ください

宮崎市清武町加納丙一四二五
宮崎学園短期大学内

宮崎学園短期大学同窓会
しのぶ会 行

通信欄

宮崎学園短期大学校歌

狩野 満 作詞

石田良男 作曲

mf
う る わ し や き り し ま や ま を み は る か し か ー ぜ ー わ た
ゆ か し き や し ら く も と お く き ゆ る は て な ー ん ー ご く

cresc. *f* *rit.* *mf*
る し の ぶ が お か ー に ま な び や た て り わ れ ら が ぼ こ う つ
の し お さ い き き ー て ま な び や た て り わ れ ら が ぼ こ う と

a tempo
ど い き て き ょ う こ そ ま な ー べ わ か き わ れ ら の ゆ め は は る
き う つ り わ か れ ゆ く と ー も わ か き わ れ ら の む ね に う た

1. *v* 2. *v*
け し ゆ は む あ あ わ れ ら が ぼ こ う わ れ ら が ぼ こ う

忍ヶ丘 第6号

【編集委員】黒瀬美智子 池田 敦子 谷口 和子
戸敷 早苗 新見 正美 ウォーカー一祐貴子
しのぶ会事務局

【発行日】平成26年3月19日

【発行所】宮崎学園短期大学
宮崎学園短期大学内 しのぶ会事務局
〒889-1605 宮崎市清武町加納丙1415
TEL.(0985)85-0146

【印刷所】愛文社 株式会社

人と人、心と心を結び学ぶ。

[結い]
You & I

社会と自分。現在と未来。ココロとカラダ。あなたとわたし。

つながりあう大切さを学ぶ大学です。

みんな、ひとりじゃない。

宮崎学園短期大学

